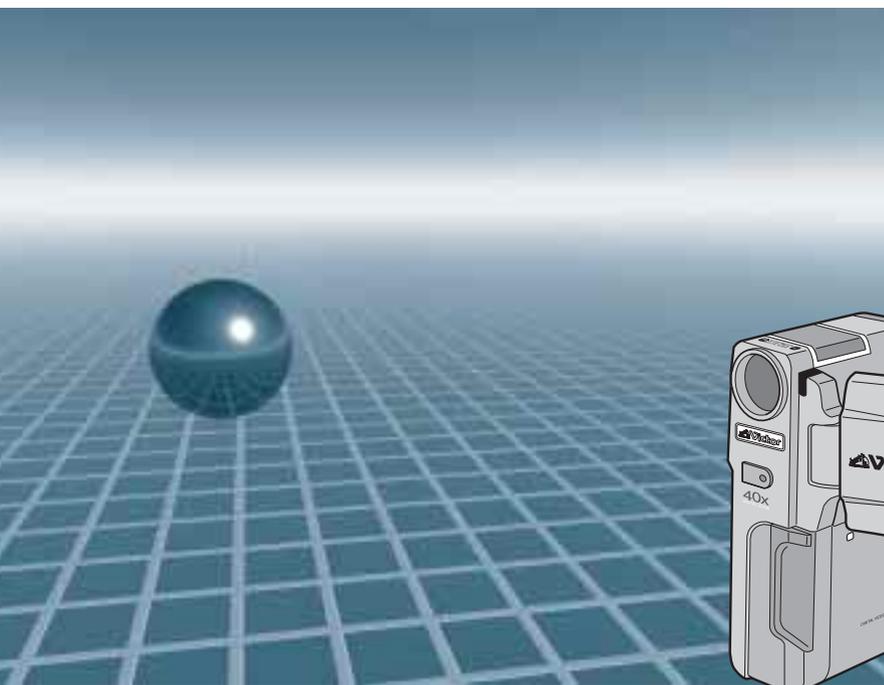


デジタルビデオムービー 型名 **GR-DVY**



Mini **DV** NTSC

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に
保管し、必要なお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げ
の際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号
と保証書に記載されている製造番号が一致している
かを、お確かめください。

安全

はじめに

準備

基本操作

接続

応用操作

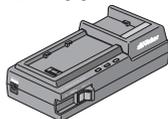
その他

必要なもの

本体



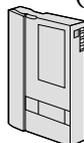
アクセサリキット (別売)
ACアダプター
AA-V60



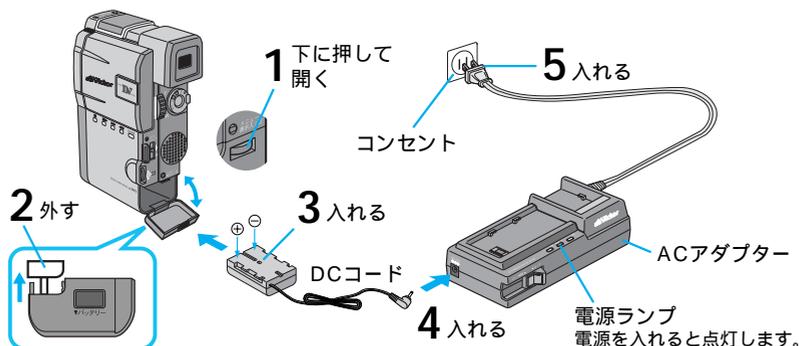
DCコード



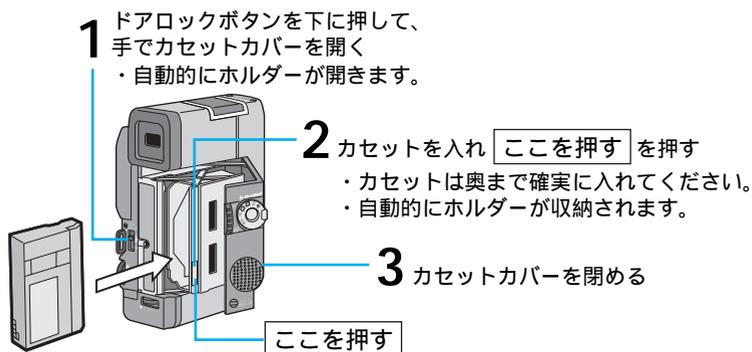
ミニ
Mini DVカセット
(別売)



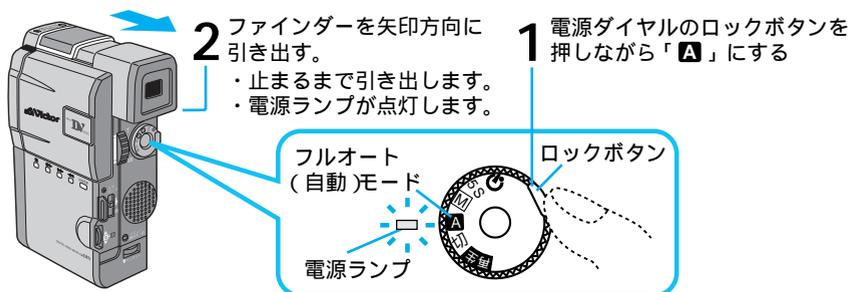
1 電源をつなぐ (👁️ 17ページ)



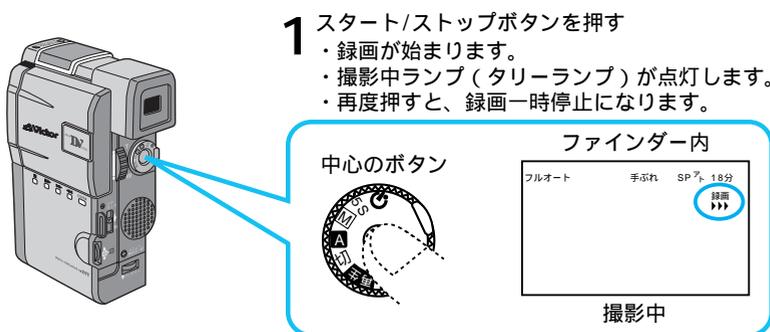
2 カセットを入れる (👁️ 21ページ)



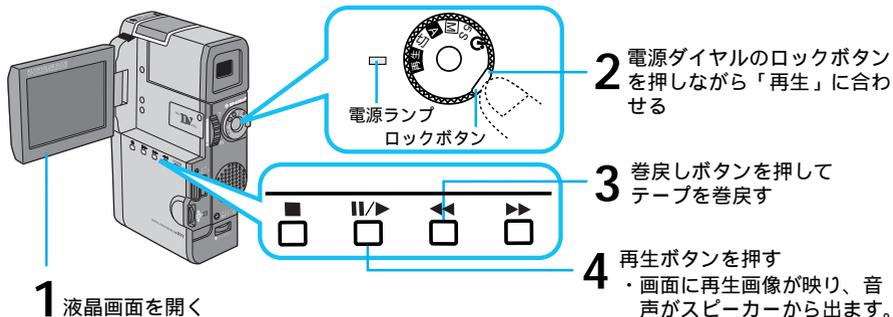
3 電源を入れる (32ページ)



4 撮る (32ページ)



5 再生する (42ページ)



もくじ

はじめに

いますぐ撮影したい	2
もくじ	4
安全上のご注意	6
主な特長	16

準備

コンセントの電源でムービーを動かす	17
バッテリーの充電のしかた	18
バッテリーの入れかた	19
グリップベルトの付けかた	20
カセットの入れかた	21
画像の明るさを調節する	22
ファインダーを調節する	23
各部のなまえとはたらき	24

基本操作

簡単な撮影のしかた	32
撮影の基本	34
ズームして撮影する	36
5秒撮りする	37
セルフタイマーで撮影する	38
記念写真を撮る	40
再生する	42

接続

接続のしかた	44
テレビで見る	44
ACアダプターをつないで見る	46
パソコンにつなぐ	48
DV端子付ビデオ機器との接続	49

応用操作

手動(マニュアル)撮影	50
ピントを合わせる(マニュアルフォーカス)	50
明るさを調節する(明るさ補正)	52
色のバランスを調節する(白バランス)	54
ワンタッチで色のバランスを設定する	56
変化をつけて場面をつなぐ(場面切替)	58
場面切替の映像効果	60
場面切替を設定する	62
映像に変化をつける(演出効果)	64
演出効果を設定する	66

色々な再生	68
再生音声を切り替える	68
日時の表示	70
タイムコードの表示	72
タイムコードと無記録部分	73
再生ズーム、画面の移動	74
再生画面に演出効果を加える	75
編集する	76
タビングする	76
デジタルダビングをする	77
ビデオを自動で編集する（自動編集）	78
より正確に自動編集する（シンクロ補正）	84
設定を変える	86
システム設定メニューについて	86
システム設定メニューの設定方法	88
日時設定メニューについて	90
日時設定メニューの設定方法	91
撮影機能の設定メニューについて	92
撮影機能の設定方法	94
アクセサリ関連	96
アクセサリキット（別売）	96
バッテリーアダプター（別売）	97
リモコン（別売）	98
故障かな？と思ったら	100
海外でお使いになるときは	103
日常のお手入れ	104
メニュー一覧	106
メニューボタン表示	106
選択ダイヤル表示	107
使用上のご注意	108
サービス窓口案内	112
主な仕様	114
保証とアフターサービス	116
用語解説	117
索引	118

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



手はさまれる

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

警告

煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



落したり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。



持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

- ・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。



不安定な場所に置かない

- ・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
- ・落ちたり、倒れたりして、ムービーの故障やけがの原因となります。



指定の電源電圧以外で使用しない

- ・火災や感電の原因となります。



安全上のご注意（つづき）

警告

電源コードを傷つけない

- ・火災や感電の原因となります。
- ・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける



内部に物を入れない

- ・カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
- ・火災や感電の原因となります。
- ・特にお子様にご注意ください。



内部の部品に触らない

- ・カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
- ・感電や故障の原因となります。



機器を接続するときは、電源を切る

- ・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。



分解や改造はしない

- ・火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
- ・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



自動車などの運転中に使用しない

- ・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
- ・交通事故の原因になります。



レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

- ・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。



警告

ぬらさない

- ・火災や感電の原因となります。
- ・風呂場では使用しないでください。
- ・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
- ・水などの入った容器(花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など)は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。



雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

- ・感電の原因となります。



電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

- ・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・最後までしっかりと接続してください。



電源プラグにほこりや金属物を付着させない

- ・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。



上に乗らない

- ・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。



⚠ 注意

電源コードはコードの部分を持って抜かない

- ・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- ・プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ・感電の原因となることがあります。



次のような場所には置かない

- ・砂浜などの砂ぼこりのある所
- ・湿気やほこりの多い所
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- ・熱器具の近くなど
- ・真夏の車内など高温になる所
- ・直射日光の強い所
- ・火災や感電の原因となることがあります。



上に重い物を置かない

- ・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。



カセットの出し入れ口に手を入れない

- ・手をはさまれてけがをする原因となります。
- ・特にお子様にご注意ください。



本体に衝撃を与えない

- ・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。



⚠ 注意

指定以外のアクセサリを使わない

- ・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
- ・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリの取扱説明書もよくお読みください。



照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

- ・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。



本機やアクセサリなどを布などでおおった状態で使用しない

- ・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。



コード類は正しく配置する

- ・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
- ・十分注意して接続、配置してください。



長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。



別売の三脚を不安定な状態で使用しない

- ・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
- ・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。



移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

- ・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- ・カセットも取り出しておいてください。



⚠️ 注意

バッテリーやグリップベルトは正しく取り付ける

- ・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。



お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

- ・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
- ・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
- ・費用については、販売店にご相談ください。



強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

- ・故障の原因となることがあります。
- ・テレビの上や近くでは使用しないでください。
- ・RFユニットやACアダプターを使用しているときは、なるべくムービーから遠ざけてご使用ください。



飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

- ・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。



ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠ 危険

ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

- ・火災や感電の原因となります。



ACアダプターは指定以外のムービーやバッテリーには使わない

- ・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
- ・指定されたものか確かめ、ムービーやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。



ACアダプターを分解や改造はしない

- ・火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
- ・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



バッテリーを充電するときは、指定のACアダプターを使う

- ・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。



バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

- ・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



安全上のご注意（つづき）

ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠ 危険

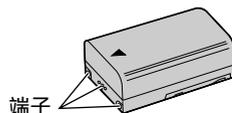
高温の場所（60℃以上）に置かない

- ・発熱、破裂、発火の原因となります。



バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

- ・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
- ・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



ボタン電池の端子部（ \oplus と \ominus ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

- ・液漏れ、発熱の原因となります。
- ・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



ボタン電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

- ・液漏れ、破裂などの原因となります。



ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

警告

指定以外のボタン電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーやボタン電池を使わない 

- ・液漏れを起こしたボタン電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
- ・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
- ・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

ボタン電池は幼児の手の届かない所に置く 

- ・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

濡れたバッテリーは使わない 

- ・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

注意

ボタン電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意する 

- ・機器の指示通りにボタン電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない 

- ・温度が上がリ、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となる場合があります。

主な特長

100倍デジタル 電子ズーム



連写/記念写真

静止画を色々なモード(枠あり、枠なし、ピンナップ)で撮影及び連写できます。

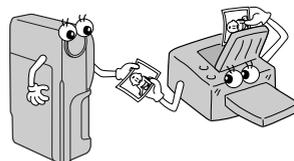


👉 40ページ

DV入力/出力端子

DVケーブル(別売)でDV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続することで、画質・音声劣化のないダビング編集や画像取り込みができます。

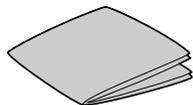
👉 48、77ページ



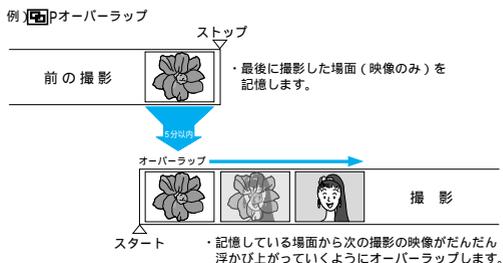
演出効果や場面切替 📖 62、66、75ページ

映像を加工してさまざまな演出をほどこして録画や再生ができます。

付属品をお確かめください



クリーニングクロス



本文中の記号の見方



操作上の注意などが書かれています。



知っているとちょっと便利な内容が書かれています。



参照ページや参照項目を示しています。

こんな
ときに

どんな時に使用するのかなどが書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。

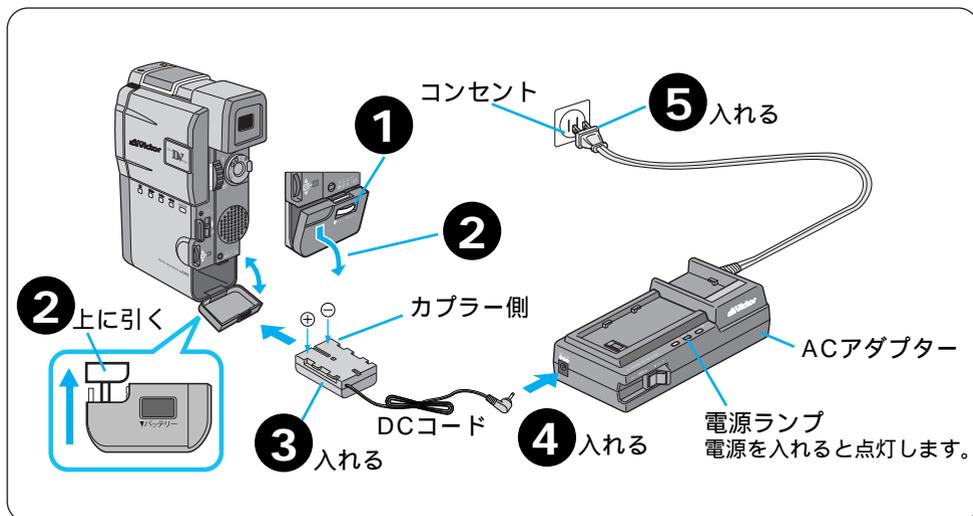


やめたいときの操作方法が書かれています。

コンセントの電源でムービーを動かす

コンセントにつないで使う

室内で使うときは、ACアダプター（別売）を使ってコンセントから電源をとると便利です。変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。



はじめに

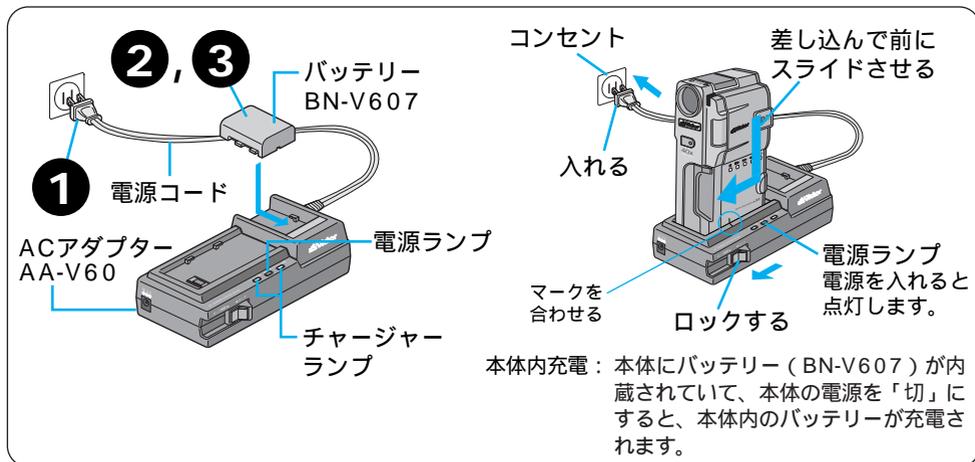
- 1** バッテリー開スイッチをスライドさせる
- 2** バッテリーカバーを開き、左端を上へ引く
このすき間は手順**3**でDCコードを出すために使用します。
- 3** DCコードの(カプラー側)をムービーに入れる
- 4** DCコードをACアダプターのDC出力端子に入れる
すき間からDCコードを出してバッテリーカバーを閉めます。
- 5** 電源コードをコンセントに差し込む



バッテリーの充電中にDCコードをDC出力端子に差し込むと、充電は中断されます。ACアダプターが、温かくなることがあります。

バッテリーを充電する

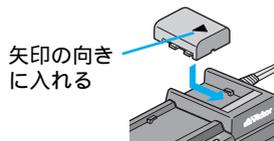
バッテリーの充電には別売のVU-V65KITに付属のACアダプター（AA-V60）が必要です。



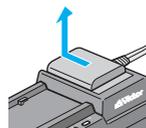
1 別売のアダプターの電源コードをコンセントに差し込む



2 バッテリーを差し込む
バッテリー充電ランプが点滅します。点滅から点灯に変わったら充電完了です。



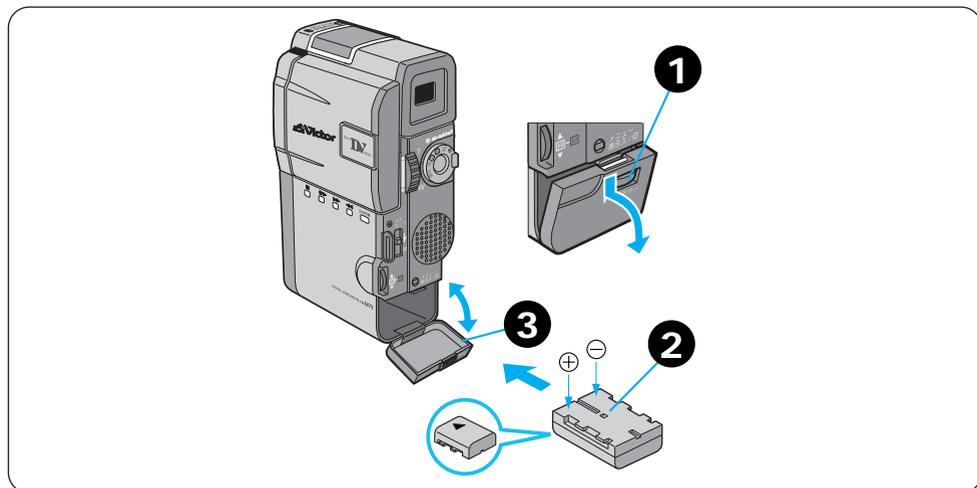
3 バッテリーを外す
次に電源コードも外します。



-  充電時間の目安
- 充電できない
- 充電しても撮影時間が短い
- 撮影時間の目安
- ➔ バッテリー（BN-V607）：約90分（室温10～35℃）
- ➔ ACアダプターにDCコードが接続されていると充電できません。
- ➔ 寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- ➔ バッテリー（BN-V607）1個で約60分（室温20℃以下でファインダーを使った連続撮影）

充電したバッテリーを入れる

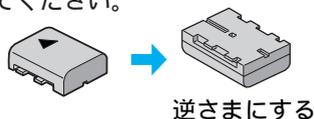
バッテリー(別売)は出荷時は充電されていません。ACアダプターで充電してからお使いください。



準備

1 バッテリー開スイッチをスライドさせる

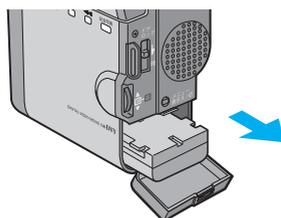
2 充電済みバッテリーを入れる
バッテリーの矢印の向きに逆さまに入れてください。
逆に入れると故障の原因になります。



3 バッテリーカバーを閉める

バッテリーを取り出す

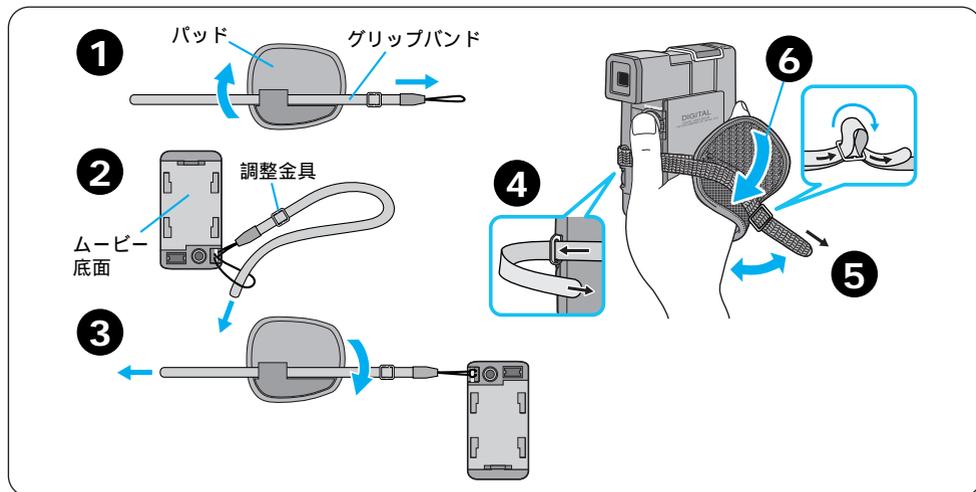
上の手順**2**でバッテリーカバーを開けて取り出す
引き抜きます。



グリップベルトの付けかた

グリップベルトを手に合わせて

手の大きさに合わせて、グリップベルトを調節します。



1 パッドを外し、グリップバンドを矢印方向に引く

4 ムービーにグリップバンドを通す

2 ムービーにグリップバンドを通す

5 グリップバンドを調節する
手を入れてズームスイッチとスタート/ストップボタンを操作しやすいように調節してください。



ハンドストラップとしてお使いになる時は、調整金具に通してご使用ください。

3 パッドをグリップバンドに取り付ける

6 パッドをはりつける

ご注意

ハンドストラップとしてお使いになる時は、他のものに引っかかるなどして危険ですので、以下のことをお守りください。

自転車、オートバイなどの乗り物に乗る時は使用しないでください。

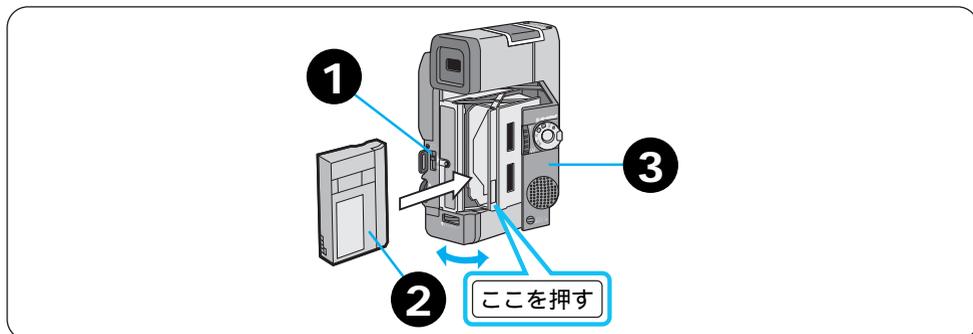
電車などの乗り降りの際には、ドアに挟まれないようご注意ください。

長さは適切に調節してください。



カセットを入れる

充電済みバッテリーを取り付けていれば、電源を入れなくてもホルダーを開けることができます。

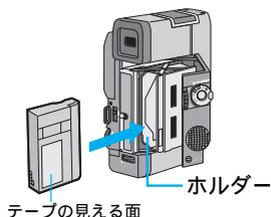


準備

- 1** ドアロックスイッチを下に押して、手でカセットカバーを開く
自動的に、ホルダーが開きます。
内部の部品を直接手でさわらないでください。



- 2** カセットをホルダーに入れ
ここを押す を押す
カセットは奥まで確実に入れてください。
自動的にテープが収納されます。



- 3** カセットカバーを閉める
ホルダーに指をはさまないようにご注意ください
テープが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いて、カセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。

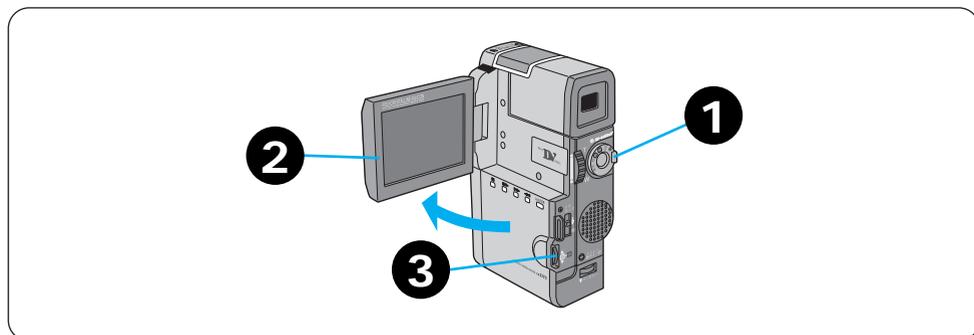
カセットを取り出す

上の手順**2**で取り出す

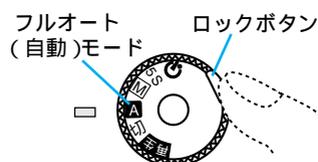
画像の明るさを調節する

画面の明るさ調節

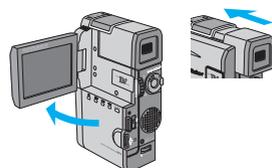
液晶画面やファインダーの明るさを調節してから、撮影や再生を行います。



- 1** 電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら「A」
を選ぶ
「切」以外のモードを選びます。



- 2** 液晶画面を開く
ファインダーが引き出されていると、液
晶画面は使えません。ファインダーを中
に入れてください。
電源ランプが点灯し電源が入ります。



- 3** 選択ダイヤルを回す
画像の明るさを調節します。



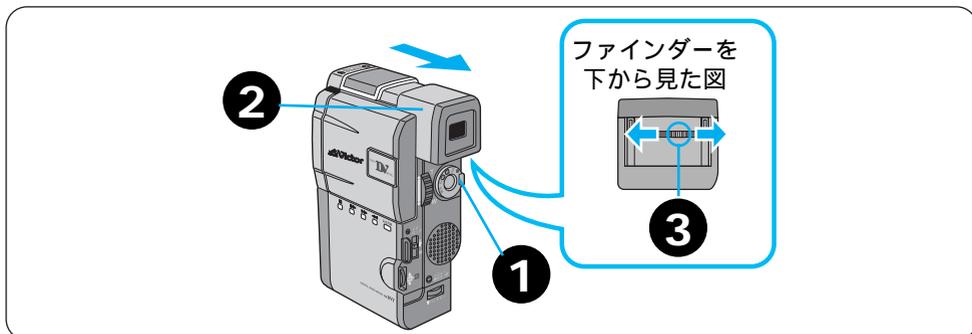
ファインダーの明るさ調節

上の手順**2**でファインダーを引き出す

ファインダーを調節する

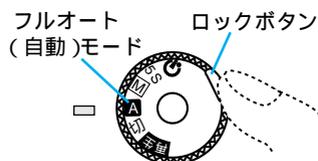
ファインダーのピント合わせ

ファインダー内の表示が見やすくなるように調節します。



準備

- 1** 電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら「A」
を選ぶ
「切」・「再生」以外のモードを選びます。



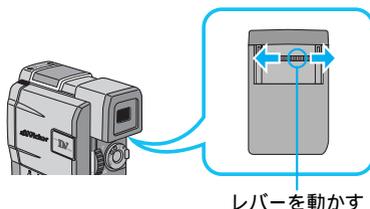
- 2** ファインダーを引き出す
止まるまで引き出します。
電源ランプが点灯し電源が入ります。



- 3** ファインダーをのぞいて
レバーを動かす
良く見えるようにレバーを動かし調節
します。



ファインダー内の表示が
良く見えるように調節する



各部のなまえとはたらき

 は参照ページです。

レンズシャッター
ファインダーを引き出す、または液晶画面を開けると、開きます。
(電源ダイヤルは撮影側)

レンズフード
反時計方向に回すと取り外せます。

撮影中ランプ
(タリーランプ)
撮影中は点灯します。

リモコン受光部
( 98ページ)
リモコンからの操作信号を受信します。ここにリモコンを向けて操作してください。

ステレオマイク
音声はステレオで入力されます。

停止ボタン
テープの再生を中止します。

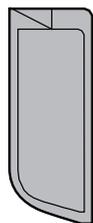
再生/一時停止ボタン
テープを再生または再生一時停止(静止)します。

巻戻しボタン
テープを巻き戻します。

早送りボタン
テープを早送ります。

記念写真ボタン
( 40ページ)
記念写真を撮るときに押します。

端子カバー



手前に引いて開けます。

端子



ステレオマイク入力端子
外部マイクを接続すると、本機のステレオマイクは使用できません。

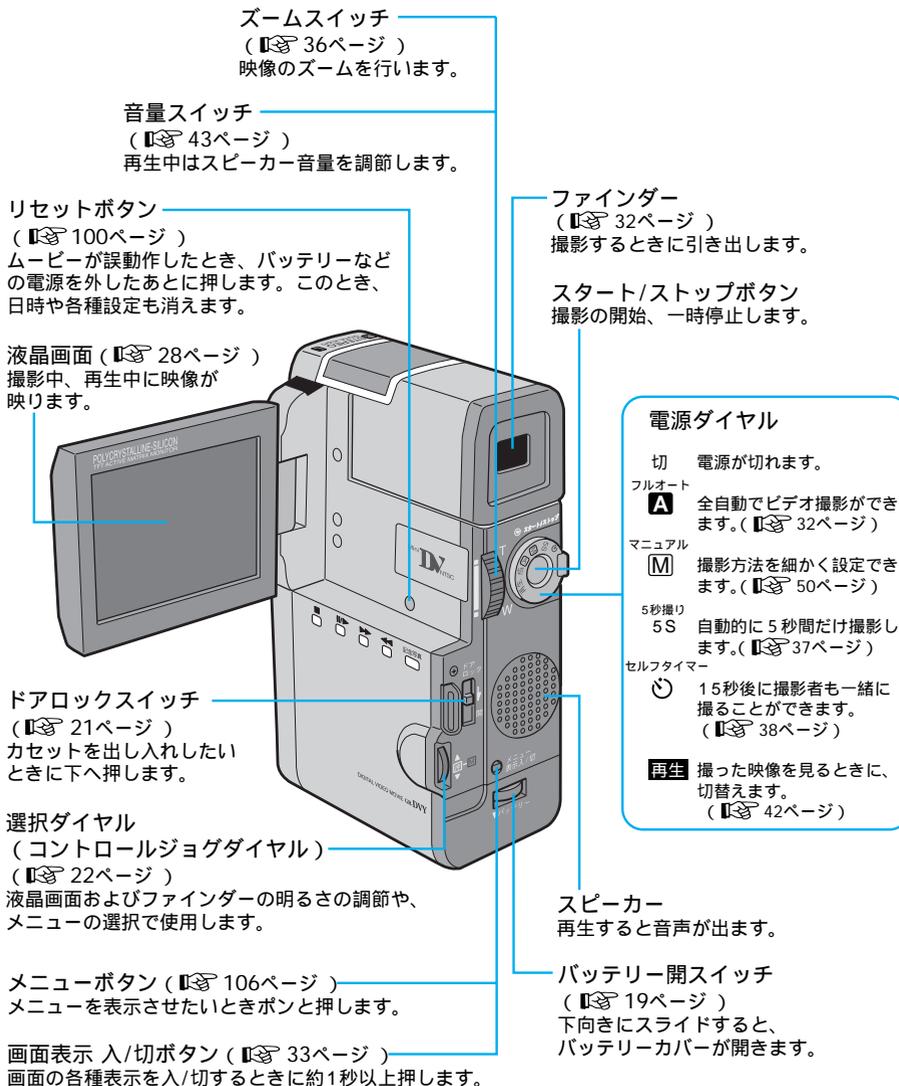
AV出力端子/ヘッドホン端子
( 33, 44ページ)
別売の映像/音声コード(3.5)でテレビなどに接続します。また、市販のヘッドホンを接続して音声を聞くことができます。ただし音量調節機能付きのヘッドホンは使えません。

DV出力/入力端子(i-LINK*)
( 49, 77ページ)

DV端子付きのビデオ機器と接続します。

*: i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。

 はi-LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。



各部のなまえ (つづき)

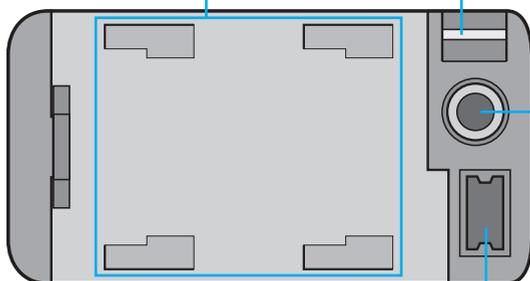
— 底 面 —

固定穴

ACアダプターやバッテリーアダプターに
入れる時に固定させるための穴です。

グリップベルト取り付け部

三脚取り付けネジ穴



ACアダプター接続端子

別売のACアダプターやバッテリーアダプターを
取り付ける際に接続されます。

－ ACアダプター(ACチャージャーステーション AA-V60) －

- 充電(ムービー、バッテリー)ランプ
- ・充電中は点滅します。
 - ・充電完了後は点灯します。
 - ・ムービーの電源を入れるとバッテリーの充電が中断されます。

ロックレバー ( 46ページ)
ロックレバーを矢印方向に引いてACアダプターとムービーを接続します。
ムービーを取り外すときは、レバーを押し、矢印と反対方向にスライドさせます。

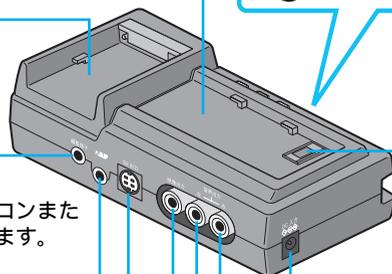
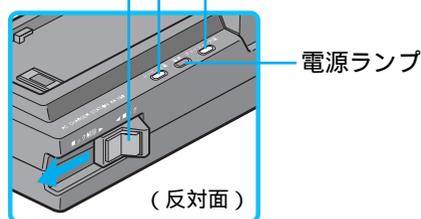
ムービー取付部
内蔵バッテリーを充電したり、編集したりするときに使います。

充電部
( 18ページ)
内蔵バッテリーを充電するときに使います。

編集端子
( 80ページ)
編集コードを使ってリモコンまたはビデオデッキを接続します。

ジェイリッパ
JLIP端子 ( 48ページ)
JLIP対応機種をつなぐための端子です。別売のJLIPプレーヤーバックなどを使ってパソコンでムービーを動かすときに使います。

S2 (映像) 出力端子
( 46, 76ページ)
S映像信号を出力します (S、S1、S2端子に対応)。
S映像コードを使ってテレビやビデオに接続します。



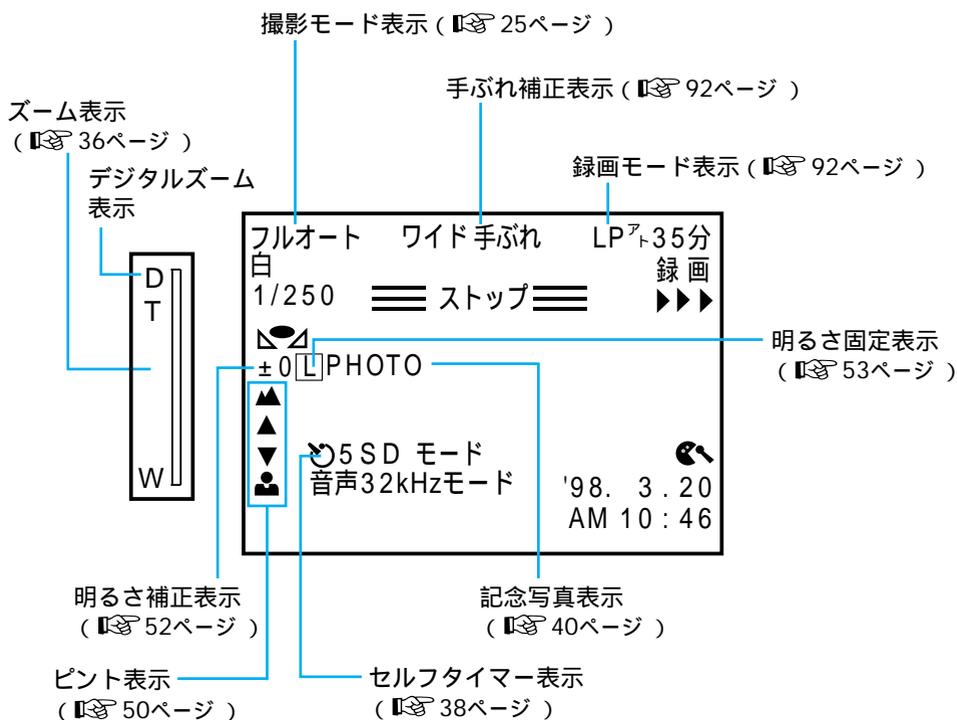
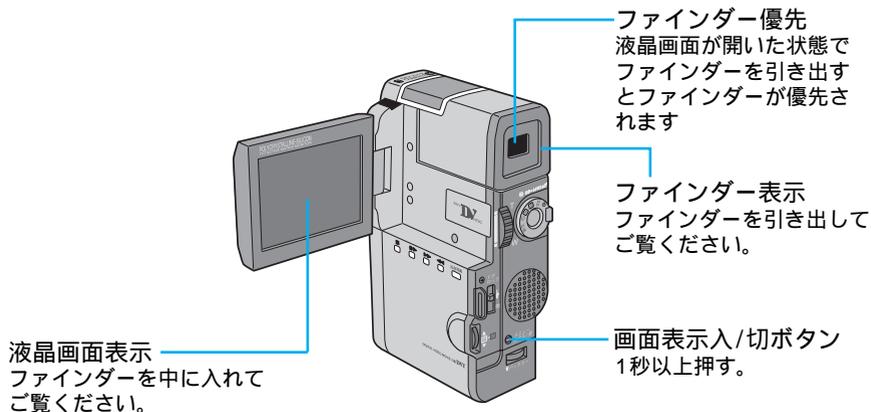
MULTI(マルチ)端子
( 46ページ)
ムービーとACアダプターを接続します。

DC出力端子
DCコードを使って、ムービーアダプターに接続します。

音声出力端子 ( 46, 76ページ)
音声を出力する端子です。

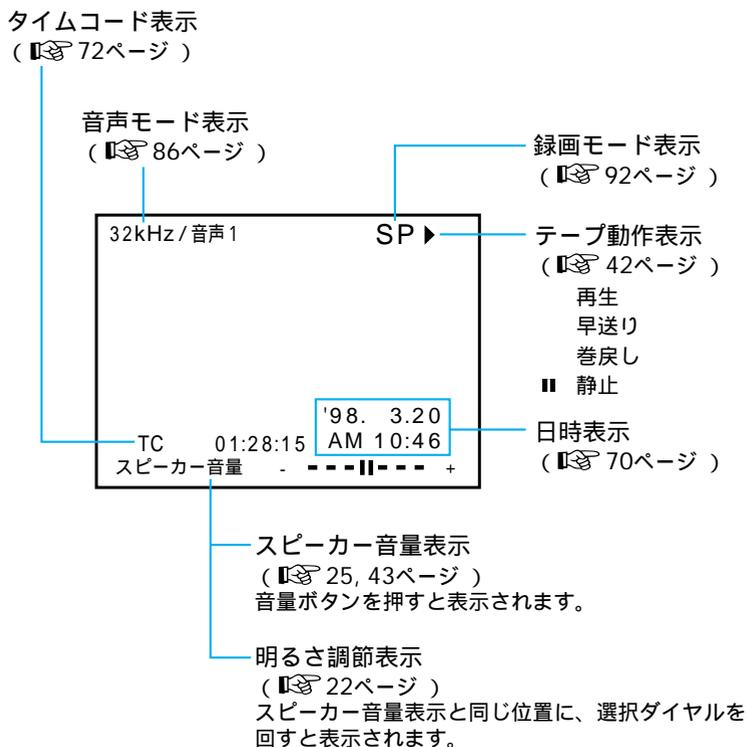
映像出力端子 ( 46, 76ページ)
映像コードを使ってテレビやビデオに接続します。

液晶画面とファインダー表示



液晶画面とファインダー表示

(再生中の画面)



お知らせ表示

(お知らせ表示の画面)

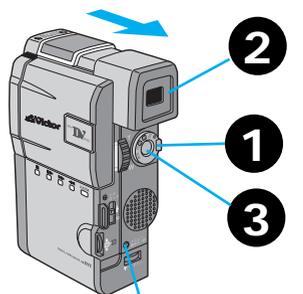


表示	表示内容	参照
	<p>バッテリーの残量を表示します。</p> <p>残量大 残量なし</p> <p></p> <p>バッテリーが少なくなると が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。</p>	—
	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます。	—
	撮影中に、ヘッドにゴミが付いていると表示されます。	104
	つゆつきが発生したときに表示されます。ムービーは自動的に停止します。	111
テープを入れて下さい!	テープが入っていないときに、電源を入れると約10秒間表示されます。	—
テープオワリ	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
日時を設定して下さい!	日時が設定されていないときに表示されます。	90
E01～07	ムービーに生じたトラブルを判断するための表示です。E01～07が表示されるとムービーは自動的に停止します。バッテリーなどの電源を外してリセットボタンを押してください。数分待ち、再び電源を入れてください。2、3度くり返しても表示が消えないときは、お買い上げ販売店か、ピクチャーサービス窓口にご相談ください。	—

簡単な撮影のしかた

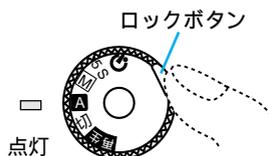
撮影する

ピントや露出合わせも自動（フルオートモード）で、簡単に撮影できます。

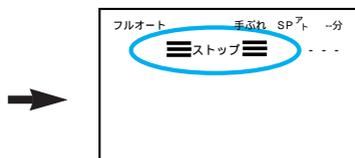


画面表示入/切ボタン

- 1** 電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら
「A」に合わせる



- 2** ファインダーを引き出す **ピッ**
電源が入り、電動でレンズカバーが
開きます。



- 3** スタート/ストップボタンを **ピッ**
押す
録画が始まります。
撮影中ランプ（タリーランプ）が点
灯します。 **ピピッ**
再度押すと録画一時停止になります。





・ 連続撮影時間

ファインダー使用時、約60分

(バッテリー「BN-V607」フル充電時)

別売バッテリーBN-V615使用時 約2時間

別売バッテリーBN-V607とBN-V615使用時

約3時間

別売のBN-V856KIT使用時

約7時間

液晶画面使用時、約50分

(バッテリー「BN-V607」フル充電時)

・ 液晶画面で撮影するには

ファインダーを押し込み、液晶画面を開いてください。

・ 5分以上撮影を一時停止したときは

ムービーの節電とテープ保護のため自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。液晶画面をお使いのときは、液晶画面を一度閉じ、再び開いてください。

・ マニュアルモードで撮影するには

左の手順1で電源ダイヤルを **M** に合わせます。その他の操作方法はフルオートモードと同じです。

・ テープの残量を確認するには

撮影中は、画面に自動的にテープの残量が表示されます。テープの残量が残り2分になると時間表示が点滅し始め、テープが終わると「テープオワリ」と表示されます。液晶画面の表示を消しているときは、テープ残量が2分になると自動的にテープの残量が表示されます。

・ 日時を確認するには

「日時表示」を「入」に設定します。ムービーには、あらかじめ現在の日時が登録されています。日時がズレているときなどは、日時を合わせてください。また、内蔵の時計用電池が放電している場合、日時の登録が消えてしまいます。内蔵の時計用電池を充電してから、日時を合わせなおしてください。( 90ページ)

・ 画面のメッセージを消したいときは

画面表示入/切ボタン(メニューボタン)を約1秒以上押します。ただし、「▶▶▶」などのテープ走行表示、トラブル発生時のお知らせ表示などは消せません。

・ 撮影中の音声をモニターしたいときは

ムービーのスピーカーからは撮影中の音声は出ません。音声を聞きながら撮影したいときは、別売のヘッドホンをつないで聞いてください。このとき音量は再生時に調節したままとなります。

・ バッテリー残量表示()が出たら

バッテリーが少なくなっています。バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。( 31ページ) 電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

撮影の基本

上手にとる姿勢

安定した画面を撮るためのコツは、画面の中の人があってもムービーを動かさないことです。ふらつかず、安定した姿勢で撮影します。



左手も
ムービーにそえる
わきをしめる

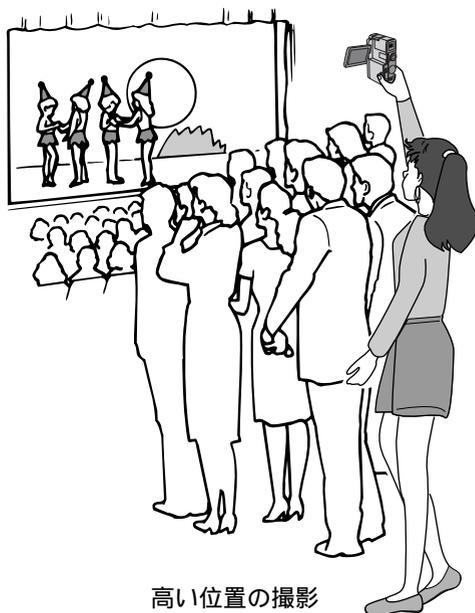
足を少し開き
しっかり構える



壁や柱によりかかり
安定させる



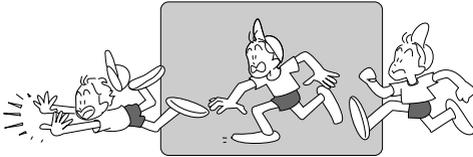
低い位置の撮影



高い位置の撮影

撮影の基本操作

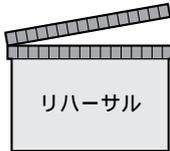
ムービーを動かさない



安定した映像で撮影するためには、ムービーを固定して撮ります。

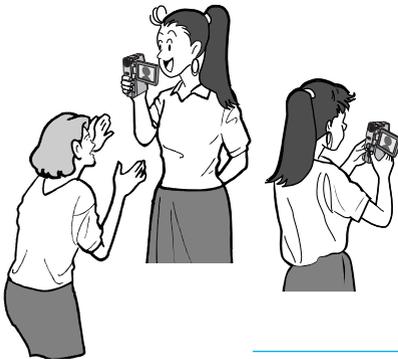
左右に動かすとき（パンニング）は、水平にゆっくり動かします。撮りはじめと撮り終りは、ピタッと止めます。

カメラリハーサルを行う



テープを入れなくても電源ダイヤルを、**A**、**M**、【5S】、☺にすれば、ムービーで撮っている映像を連続して見る（モニターする）ことができます。この状態で映像/音声コードをつなげば外部映像機器に出力することができます。DV端子を利用することもできます。（接続のしかたは📖 44ページ）

いろいろなアングルで撮影する



液晶画面は上に180°、下に90°回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます（対面撮影）。液晶画面を開いて180°回転させ、レンズをご自分に向けて撮影してください。ビデオ日記などをお撮りになりたいときにご利用いただけます。



対面撮影中の液晶画面には、鏡に映ったような映像が出ます。また、液晶画面上の表示は、「▶▶▶」などのテープ走行表示と、ムービーにトラブルが生じたときのお知らせ表示しか出ません。



ズーム撮影

撮影中に被写体にズームすることができます。

こんなときに

被写体が遠いところにいるときや、画面に変化を付けたいときなどにご利用いただけます。

T: Telescopic (望遠)
W: Wide (広角)

注意 使いすぎると見づらい画面になります。

1

ズームスイッチを押す

少し押すとゆっくりズームし、いっぱいまで押すと早くズームします。

ズームスイッチ

T ↑ 大きくなる
W ↓ 小さくなる



- フルオートモードでのズーム ➡ 40倍までズーム可能
- マニュアルモードでのズーム ➡ 最大100倍までズーム可能
- 10倍以上のズーム (デジタルズーム) ➡ 10倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。(デジタル処理をするために)
- 接写したいとき (マクロ撮影) ➡ W側にいっぱいまで押すとレンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影可能
- 10倍以上のズームが使用できない ➡ 映像をデジタル処理する機能(オーバーラップなど)との併用はできません。

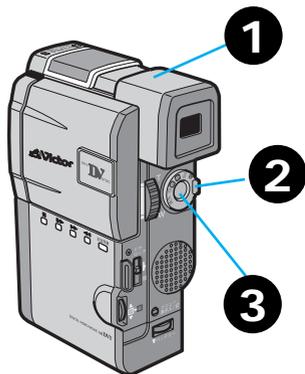


5秒撮り

スタート/ストップボタンを押して5秒間だけ映像を撮影することができます。

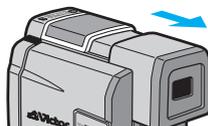
こんなときに

旅先で風景や名所の記録を5秒間ずつ映像と音声で残したいときなどにも便利です。



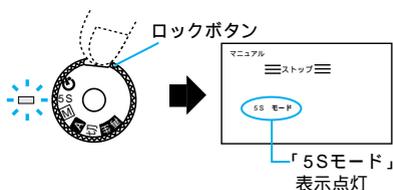
5秒撮りの撮影ではフルオートモードで撮影されます。白バランスは先に設定した状態のままです。撮影中はスタート/ストップボタンで停止できません。

1 ファインダーを引き出す



2 電源ダイヤルのロックボタンを押しながら、「5S」に合わせる

ピッ



3 スタート/ストップボタンを押す

ピッ

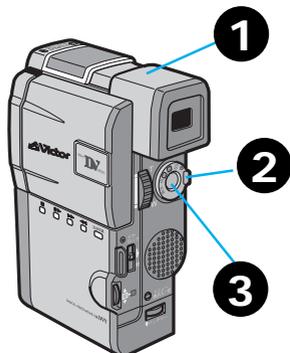


5秒撮り撮影モードで記念写真を撮りたいときは上の手順③で記念写真ボタン (40ページ) を押します。約6秒間、テープに静止画像が記録されます。ただし、「シーン」を「アニメ」(86ページ) にしているときはできません。

セルフタイマー撮影

ムービーを固定してセルフタイマー撮影を行うと、撮影者も一緒にビデオを撮ることができます。

こんなときに みんなが写ったビデオを残したいときなどにご利用ください。

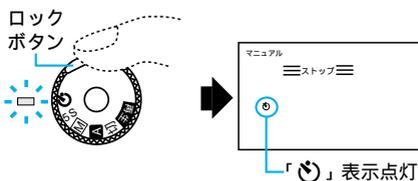


やめたいとき
電源ダイヤルを **A**、**M**、
または「切」に合わせます。

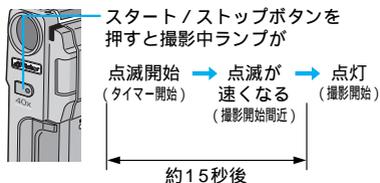
1 ファインダーを引き出す



2 電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら、
「」に合わせる



3 スタート/ストップボタンを
押す
再度押すと停止します。





セルフタイマーモードで記念写真を撮りたいときは
左の手順③で記念写真ボタン ( 40ページ) を押し
ます。約15秒後に、記念写真撮影をします。

液晶画面を見ながら撮影する

液晶画面を180°回転させて、映り具合を見ながら撮影位
置を決めることができます。

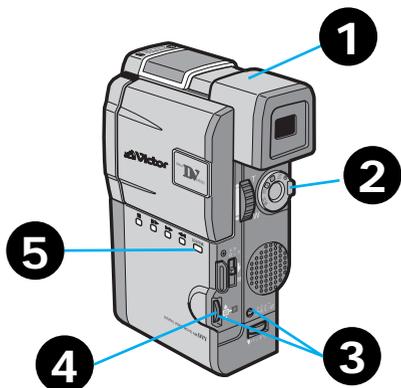
撮影中はスタート/ストップボタンで停止できます。

記念写真を撮る

記念写真撮影

被写体の表情などをワンポイントで記録したいときなどに効果的です。

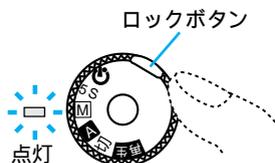
こんなときに ビデオの中に写真のような映像を挿入したいときに便利です。



1 ファインダーを引き出す



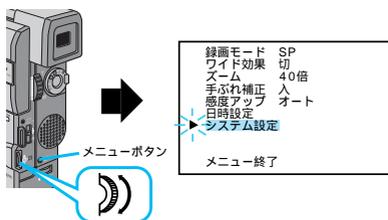
2 電源ダイヤルのロックボタンを押しながら「M」に合わせる



3 メニューボタンを押し選択ダイヤルで「システム設定」に合わせる

メニューボタンを押すとメニューが表示されます。

選択ダイヤルを回して「システム設定」に合わせます。



4

選択ダイヤルを押してから「記念写真」を選びモードを選択する

選択は選択ダイヤルを回し、決定は選択ダイヤルを押します。

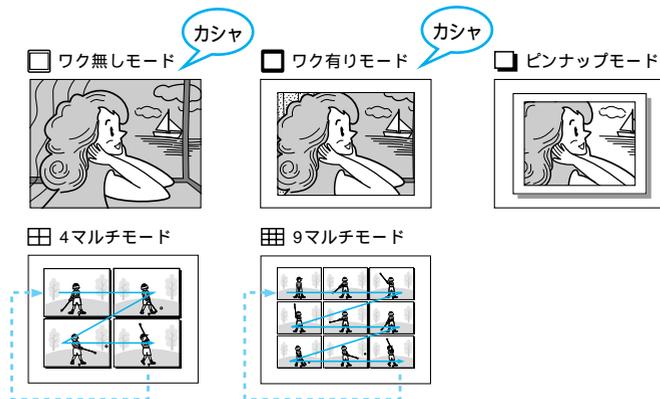
モードを選んだら選択ダイヤル押し、「設定終了」を押してください。

記念写真モードについて

選択ダイヤルを回して、5種類のモードから一つを選択します。

各モードに切り替えると次のように記録されます。

▶記念写真	ワク有り
シーン	5S
ブザー/タリ	入
ボイスポジション	切
音声モード	32kHz
IDナンバー	06
デモモード	切
設定終了	



5

記念写真ボタンを押す

静止画像が約6秒間記録されます。

演出効果(シャッターを除く)が設定されているときは、4マルチ、9マルチモードで撮影できません。



撮影一時停止状態で記念写真を撮影したときは静止画像を約6秒間記録した後、撮影一時停止状態に戻ります。

記念写真ボタンを押し続けたときは静止画像を約0.7秒ごとに連写します。

再生中も記念写真モードを使えます

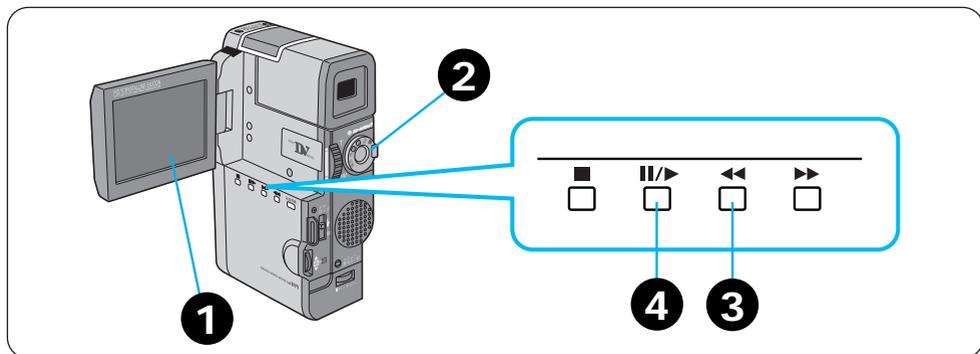
「カシャ」音は出ません。

デジタルズーム画面(10倍以上)では、使用できません。

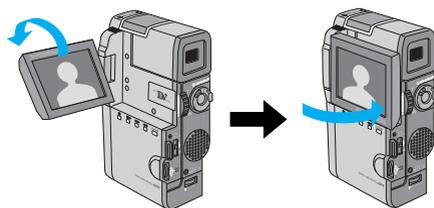
再生する

液晶画面で見る

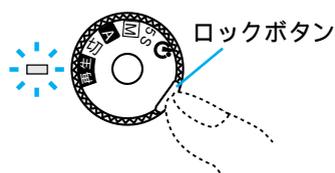
ムービーの液晶画面で再生できます。撮ったその場で映像を確認したいときなどにご利用ください。



- 1** 液晶画面を開く
90°開き180°回して本体に付け
ます。
閉じるときは、正しく90°まで開
いてから180°回して閉じます。



- 2** 電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら
「再生」に合わせる



- 3** 巻戻しボタンを押してテープを
巻戻す



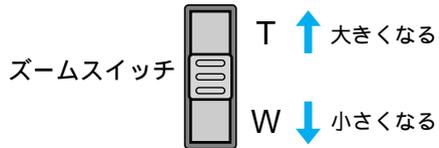
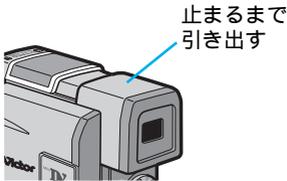
- 4** 再生ボタンを押す
画面に再生映像が映り、音声スピー
カーから出ます。





ファインダーで見ると

音量調節するには



色々な再生

こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻る
・画面を見ながら早送りして探し見したい (早送り再生) 9倍速	再生中に 	1度ボンと押す 押し続ける	再生ボタンを押す 指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい (巻戻し再生) 9倍速	再生中に 	1度ボンと押す 押し続ける	再生ボタンを押す 指を離す
・画面を一時停止させて見たい (静止画再生)	再生中に 		再生ボタンを押す

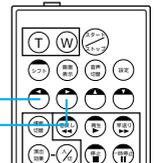
頭出し再生機能 (別売のリモコンを使用)

編集開始場面や終了場面を頭出ししたいときに利用できます。頭出しを目的とした機能ですので、再生画面にノイズや乱れが出ますが故障ではありません。

静止画再生中

巻戻し方向 (約20秒後再生に戻る)

早送り方向 (約60秒後再生に戻る)



静止画再生を約3分以上続けると自動的に停止します。高速再生中は多少モザイクのかかったような映像になります。また、音声は出ません。コピーガードが付いているテープは再生できません。画面はブルーバック (青い画面) になります。

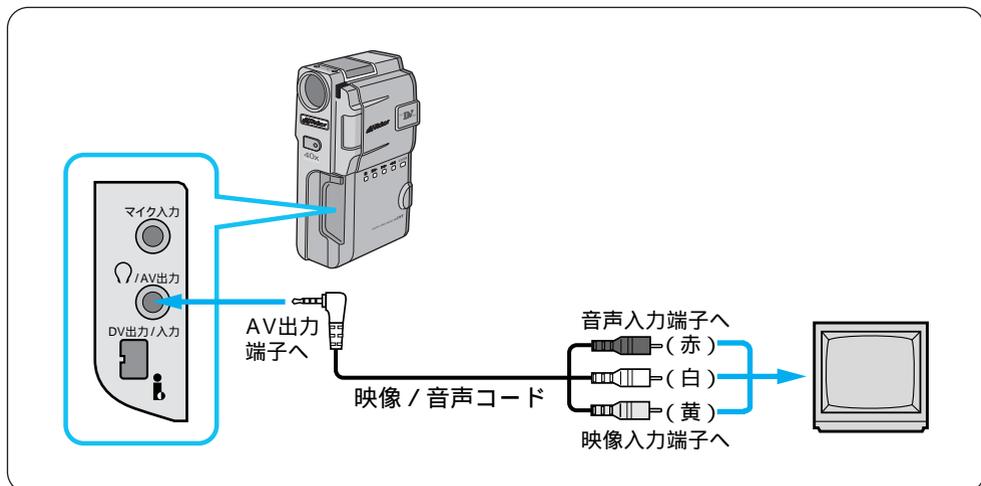
接続のしかた

テレビで見る

みんな揃ってテレビで撮った映像を
ご覧になれます。

こんな
ときに

ムービーを旅先でテレビにつないで再生するこ
とができます。



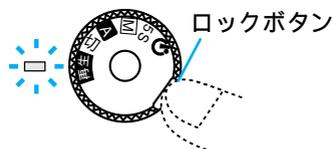
1

映像/音声コードを使ってテレ
ビに接続する

ムービーの端子カバーは手前に引っ
ぱって開きます。

2

電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら
「再生」に合わせる



3

テレビの電源を入れる

ご注意

電源は必ず接続後に入れてください。電源を入れたまま接
続を行うと、機器の故障の原因になります。

4

テレビのチャンネルや入力モードを設定する

ムービーをテレビに接続したとき

テレビの入力モードをムービーを接続した端子に切り替えます。

(例えば「ビデオ1、ビデオ2、ムービー」など)。

急に大きな音が出たりしないように、テレビの音量は最小にしておいてください。

5

再生ボタンを押す

別売のリモコンでも操作できます。



ご使用になるテレビによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビの取扱説明書を参照してください。テレビの音声入力端子が1つしかないときは別売の変換プラグ(CN-161G)を接続してください。



再生時のメッセージ表示を消す

- ・日時表示の消去  70ページ
- ・タイムコード表示の消去  72ページ
- 再生映像をズームしたい  74ページ
- 再生映像に変化を付けたい  75ページ
- ムービーだけで再生したい  42ページ

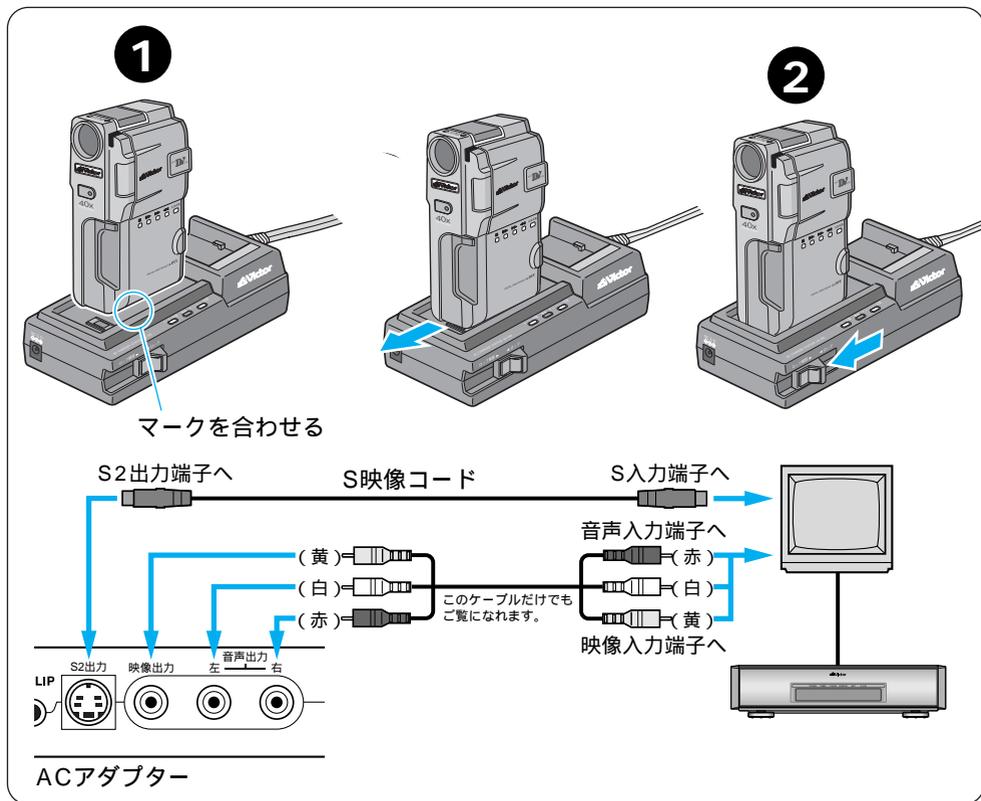
接続のしかた（つづき）

ACアダプターをつないで見る

みんな揃ってテレビで撮った映像を
ご覧になれます。

こんな
ときに

ムービーをご家庭のテレビやビデオにつないで
再生することができます。



1 ムービーをACアダプターにのせて、前へスライドさせる

2 レバーを引いてロックする



電源は必ず接続後に入れてください。電源を入れたまま接続を行うと、機器の故障の原因になります。

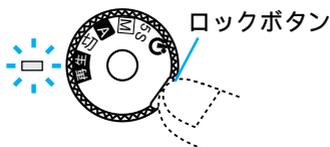


3

ACアダプターをテレビまたはビデオデッキに接続し、電源プラグをコンセントに入れる

4

電源ダイヤルの
ロックボタンを押しながら
「再生」に合わせる



5

テレビ、またはビデオデッキの
電源を入れる

6

テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを
設定する

ムービーをテレビに接続したとき

テレビの入力モードをムービーを接続した端子に切り替えます。

(例えば「ビデオ1、ビデオ2、ムービー」など)。

ムービーをビデオデッキに接続したとき

テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に設定します。

急に大きな音が出たりしないように、テレビの音量は最小にしておいてください。

7

再生ボタンを押す

別売のリモコンでも操作できます。



再生時のメッセージ表示を消す

- ・日時表示の消去  70ページ
- ・タイムコード表示の消去  72ページ
- 再生映像をズームしたい  74ページ
- 再生映像に変化を付けたい  75ページ
- ムービーだけで再生したい  42ページ

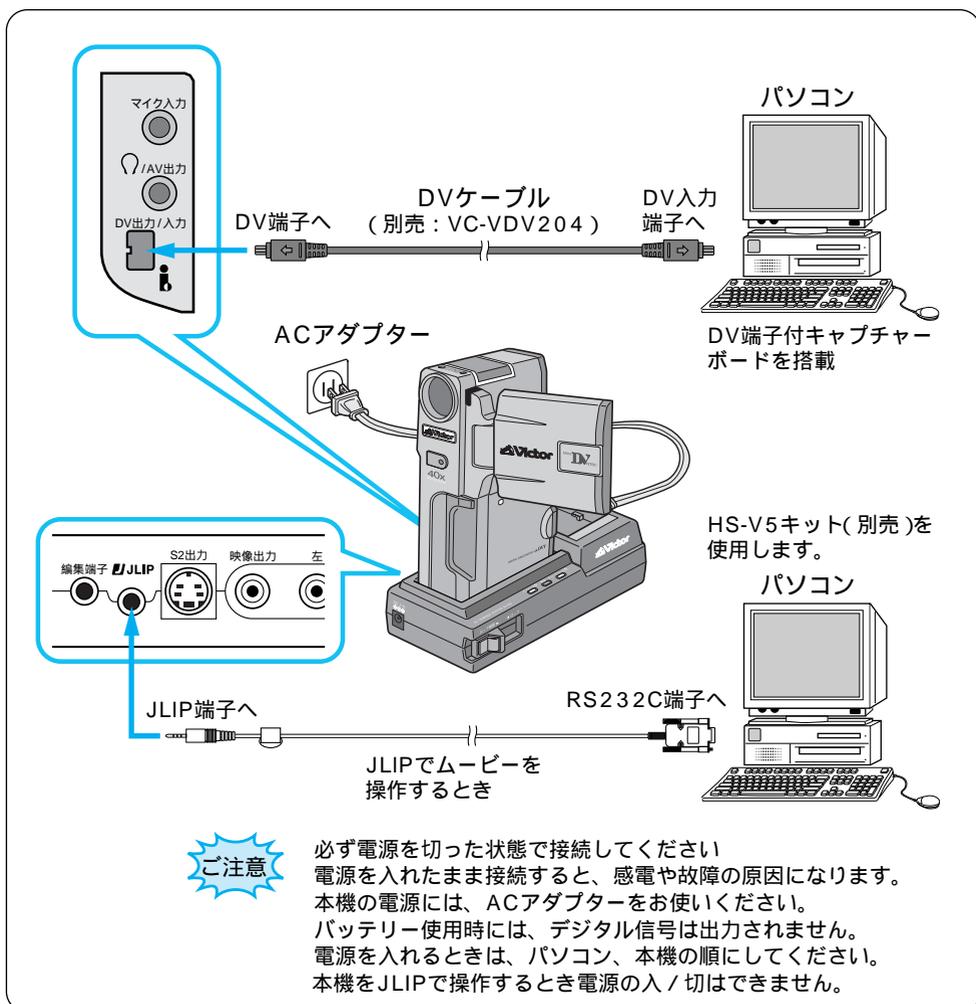


ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。

接続のしかた(つづき)

パソコンにつなぐ

本機にHS-V5キット(別売)を使用するとパソコンでムービーをコントロールできます。またDV端子付キャプチャーボードを搭載したパソコンにも静止画像を取り込むことができます。

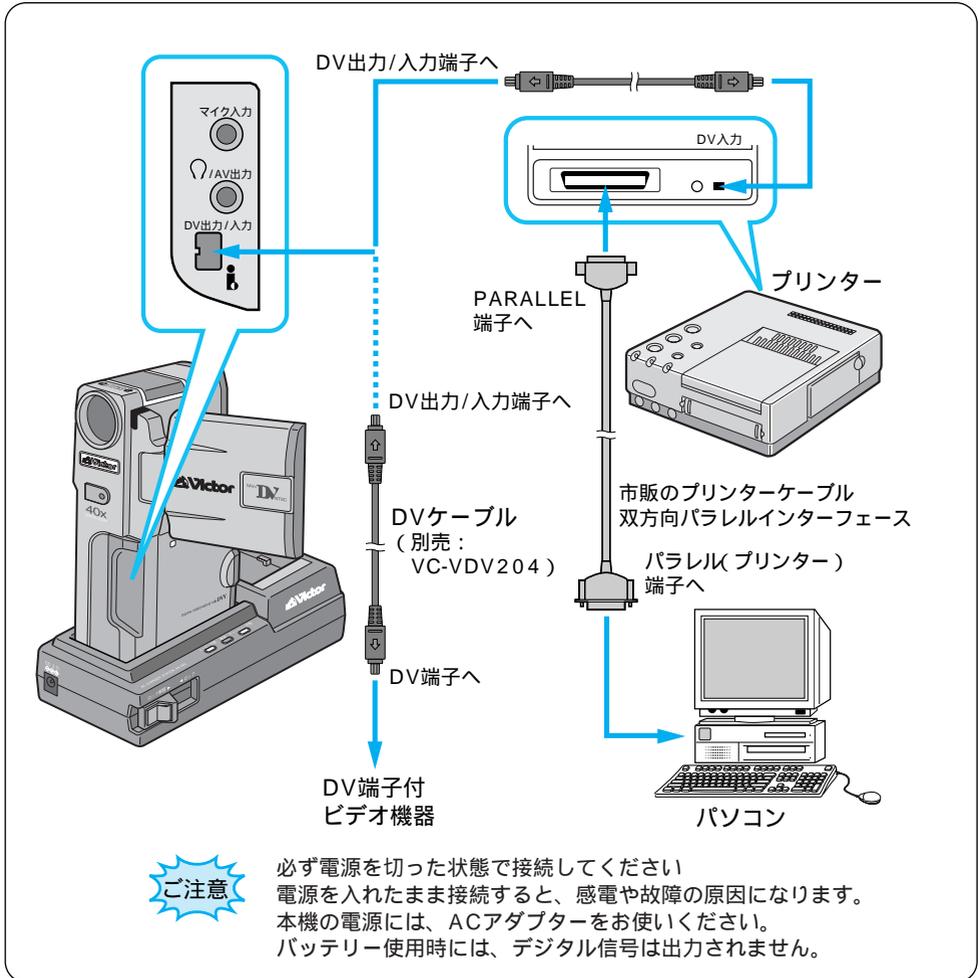


日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
HS-V5キット/パソコンのDV端子付キャプチャーボードの取扱説明書もご覧ください。



DV端子付ビデオ機器との接続

デジタルプリンターGV-DT1（別売）を使用するとダイレクトプリントやキャプチャー画像をパソコンに送ることができます。またDV端子付ビデオ機器に画像データをデジタルダビング（画質や音質の劣化がほとんどありません）できます。



デジタルダビングするときは本機と接続できるのは1台だけです。
接続する機器（DV端子付ビデオ機器、デジタルプリンター、パソコン）などの取扱説明書もご覧ください。

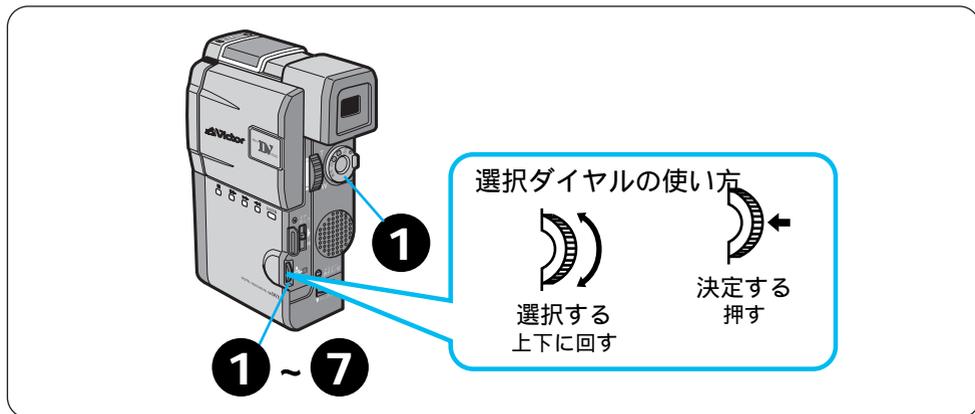
手動(マニュアル)撮影

ピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

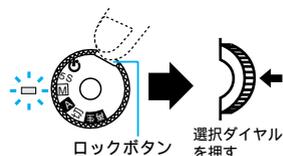
オートフォーカスでは、約5センチから無限遠まで自動的にピントが合います。「フォーカス」はお買い上げになった時には「オート」に設定されています。

こんなときに

ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは(フルオートモードでは画面中央にピントが合います)手動でピントを合わせるすることができます。



- 1** 電源ダイヤル **M** で、選択ダイヤルを押す
メニュー画面が表示されます。



- 2** 選択ダイヤルで「フォーカス」に合わせる
上下に回して合わせます。



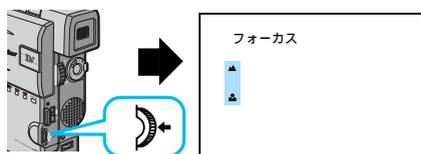
- 3** 選択ダイヤルを押す



- 4** 選択ダイヤルで「マニュアル」に合わせる
上下に回して合わせます。



- 5** 選択ダイヤルを押す



- 6** 選択ダイヤルを回してピントを合わせる
良く見えるように合わせます。



- 7** 選択ダイヤルを押す
設定したフォーカスが固定し、「フォーカス」の表示は「マニュアル」に変わります。固定したピントを合わせ直したいときは、手順1からくり返します。



- ピントをオートフォーカスにするには
- ・上の手順 **4** で「オート」を選択する。
 - ・電源ダイヤルを **A** に合わせてもオートフォーカスに切り替えることができます。再び電源ダイヤルを **M** に戻してもオートフォーカスのままです。



- こんなときに手でピントを合わせます
- ・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
 - ・金網などの障害物が被写体との間にあるとき
 - ・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
 - ・蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

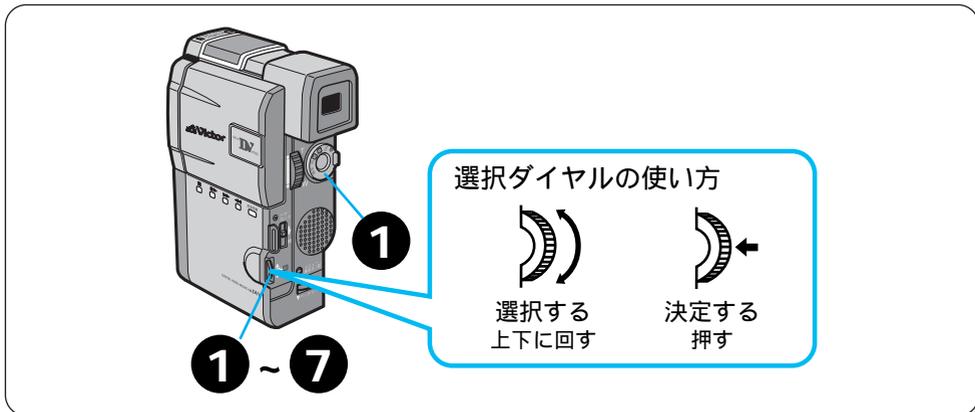
手動(マニュアル)撮影(つづき)

明るさを調節する(明るさ補正)

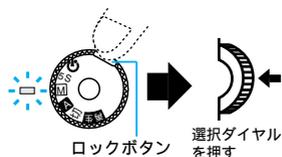
フルオートモードでは、ムービーは映像の明るさを自動調節して撮影します。「明るさ補正」はお買い上げになった時には「オート」に設定されています。

こんなときに

背景が明るすぎて被写体が暗くなるときや背景に比べて被写体が明るすぎるときなどは、手動で明るさを調節すると便利です。



- 1** 電源ダイヤル **M** で、選択ダイヤルを押す
メニュー画面が表示されます。



- 2** 選択ダイヤルで「明るさ補正」に合わせる
上下に回して合わせます。



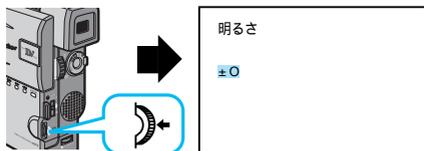
- 3** 選択ダイヤルを押す



4 選択ダイヤルで「マニュアル」に合わせる
 上下に回して合わせます。



5 選択ダイヤルを押す



6 選択ダイヤルを回して明るさを調節する



7 選択ダイヤルを押す
 明るさの補正が固定され「明るさ」の表示は「マニュアル」に変わります。固定した明るさを合わせ直したいときは、手順**1**からくり返します。



- 明るさ補正を自動にするには
- ・手順**4**で「オート」を選択する。
 - ・電源ダイヤルを **A** に合わせても自動調節に切り替えることができます。
- 一定の明るさで撮影するには
- ・手順**6**のあと、選択ダイヤルを2秒以上押し明るさ調節表示の数字の横に **L** が表示されます。
 - ・再度選択ダイヤルを押す
 明るさが固定され、「明るさ」の表示は「マニュアル」に変わります。動きのある被写体や、ズーム操作で画面上の被写体を一定にすることができます。

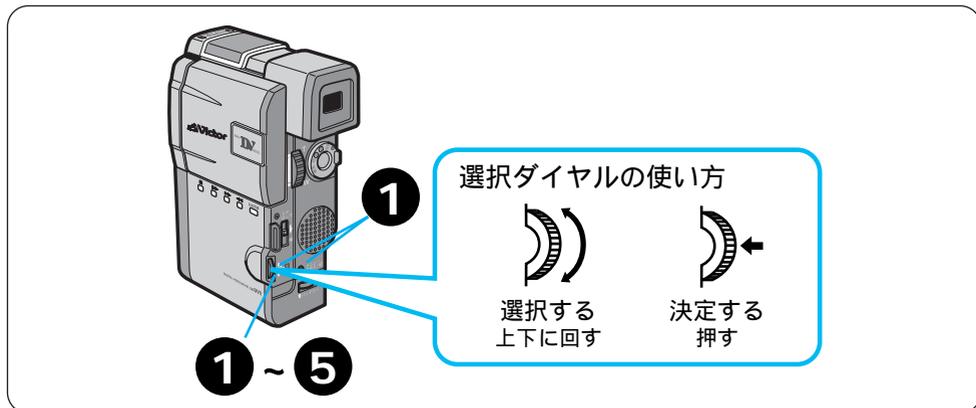
手動(マニュアル)撮影(つづき)

色のバランスを調節する(白バランス)

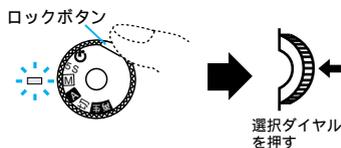
フルオートモードでは、ムービーは撮影する色のバランスを自動で調節します。「白バランス」はお買い上げになった時には「オート」に設定されています。

こんなとき

特定の条件で撮影を行うときなどはマニュアルモードで色のバランスを調節すると便利です。手動で色のバランスを調節すると、設定した色のバランスで撮影することができます。



- 1** 電源ダイヤル **M** で、選択ダイヤルを押す
メニュー画面が表示されます。



- 2** 選択ダイヤルで「白バランス」に合わせる
上下に回して合わせます。



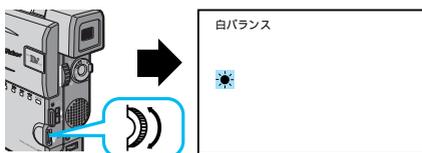
- 3** 選択ダイヤルを押す





4 選択ダイヤルで「☀」に合わせる

上下に回して合わせます。



次の5つのメニューから選択できます。

- ・オート 自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。
- ・☑️ワンタッチ あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。(☑️ 56ページ)
- ・☀ 晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
- ・☁ 曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
- ・☀ 室内などで撮影するときに選択します。

5 選択ダイヤルを押す

色バランスが固定され、画面上の「白バランス」が「マニュアル」になります。



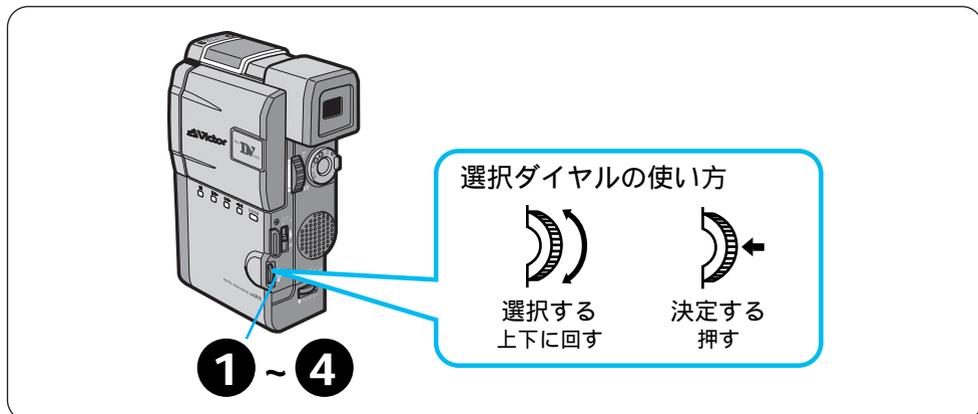
色のバランス調節を自動にするには

- ・上の手順 4 で「オート」を選択する。
- ・電源ダイヤルを **A** に合わせても自動調節に切り替えることができます。

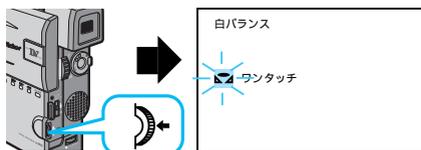
手動(マニュアル)撮影(つづき)

ワンタッチで色のバランスを設定する

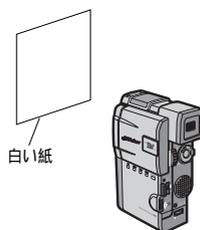
被写体に合った色のバランスを設定しておく方法を説明します。



- 1** 前ページ (55ページ)
の手順4で「ワンタッチ」
を選ぶ
ワンタッチを選びます。

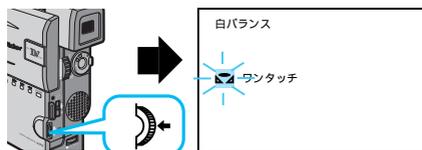


- 2** 被写体の前に白い紙を置き、
画面いっぱい白い紙を映し
ます。

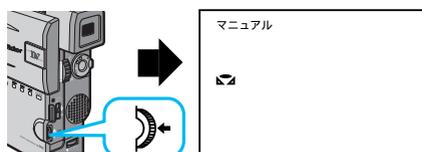


3 選択ダイヤルを、「☑」が点滅するまで押し続ける

「☑」の点滅が止まったところの色のバランスが、ワンタッチに記憶されます。



4 選択ダイヤルを押す 画面上の「ワンタッチ」が「☑」だけになり「白バランス」が「マニュアル」になります。



設定した色のバランスは「ワンタッチ」に別の色のバランスを設定するまで記憶されています。



室内で撮影するときは外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。光によって色温度（☞ 117ページ）が異なるため、自然な色合いで撮影したいときは色のバランスを調節してください。

色紙を使って色のバランスを調節するときは左の手順2で色紙を置いて色のバランスを調節すると、白い紙を置いて調節したときとはちょっと変わった色合いの撮影が楽しめます。

例)
赤い紙で調節した場合：青緑がかった色で撮影されます。
青い紙で調節した場合：オレンジ色で撮影されます。
黄色い紙で調節した場合：青紫がかった色で撮影されます。

手動(マニュアル)撮影(つづき)

変化をつけて場面をつなぐ(場面切替)

ここでは場面と場面の間に変化を付けて場面をつなぐ方法を説明します。場面切替は次のメニューから利用することができます。

分類	メニューアイコン	効果
白・黒画面で切替	 フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	 フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	 フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
	 フェーダー：モザイク	モザイク画面で、フェードイン、フェードアウトします。
	 ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
	 ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
	 ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
	 ワイプ：ドア	黒い画面から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
	 ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
	 ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。

分類	メニューアイコン	効果
最後の映像 (静止画) で切替	 P オーバーラップ	最後に撮った映像から次の撮影の映像が徐々に浮かび上がっていくように場面を切り替えます(オーバーラップ)。
	 P ワイプ: コーナー	最後に撮った映像の右上から左下へ徐々にワイプインします。
	 P ワイプ: ウィンドウ	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中心から徐々にワイプインします。
	 P ワイプ: スライド	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の右から左に徐々にワイプインします。
	 P ワイプ: ドア	次の撮影の映像が、最後に撮った映像から左右にドアを開けていくように徐々にワイプインします。
	 P ワイプ: スクロール	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の下から上に徐々にワイプインします。
	 P ワイプ: シャッター	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中央から上下に徐々にワイプインします。
ランダムに切替	 R ランダム	「白・黒画面で切替」メニューの中から使用するメニューをムービーがランダムに選び、場面を切り替えていきます。
-	切	「場面切替」を使用しないときに選択します。

設定方法は、62ページからです。

手動(マニュアル)撮影(つづき)

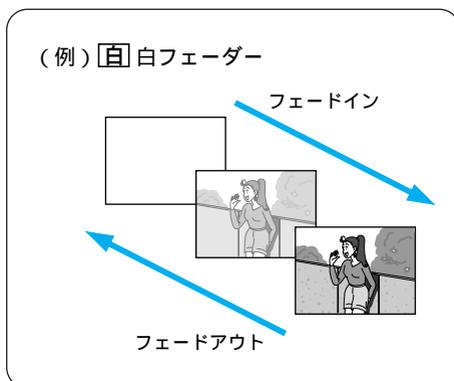
場面切替の映像効果

実際に「画面切替」をご利用になる前に、各メニューではどのように映像がつながるのかをイラストを使って説明します。

「白・黒画面で切替」メニューを使ったときの効果

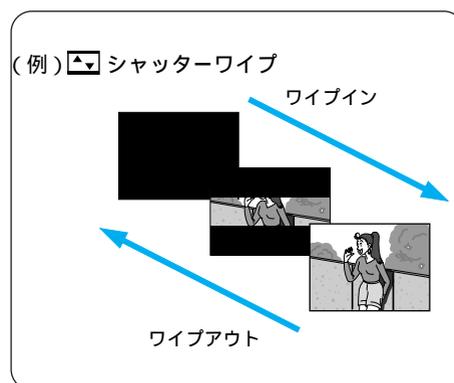
1) フェーダー効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。「フェーダー：白」「フェーダー：黒」「フェーダー：白黒」「フェーダー：モザイク」メニューをご利用いただけます。



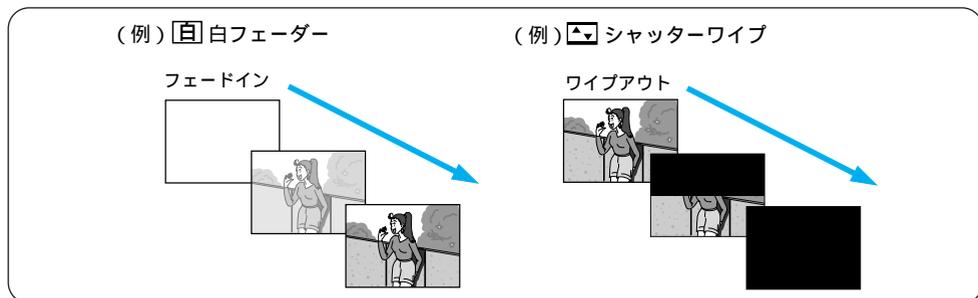
2) ワイプ効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。「ワイプ：コーナー」「ワイプ：ウィンドウ」「ワイプ：スライド」「ワイプ：ドア」「ワイプ：スクロール」「ワイプ：シャッター」メニューをご利用いただけます。



「ランダムに切替」メニューを使ったときの効果

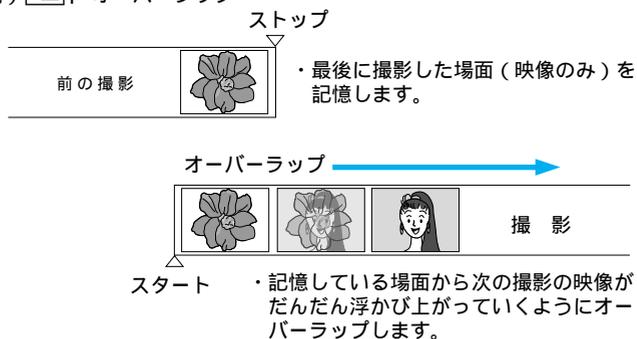
「白・黒画面で切替」メニューの中から使用するメニューをムービーがランダムに選び、画面を切り替えていきます。



「最後の映像(静止画)で切替」メニューを使ったときの効果

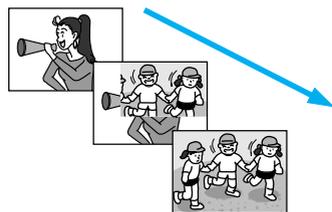
1) オーバーラップ
ビデオの撮り始めをオーバーラップでつなぎます。

(例) P オーバーラップ



2) アイコンにPの付いているワイプ効果
ビデオの撮り始めをワイプインでつなぎます。
「ワイプ: コーナー」「ワイプ: ウィンドウ」
「ワイプ: スライド」「ワイプ: ドア」「ワイプ: スクロール」「ワイプ: シャッター」がご利用いただけます。

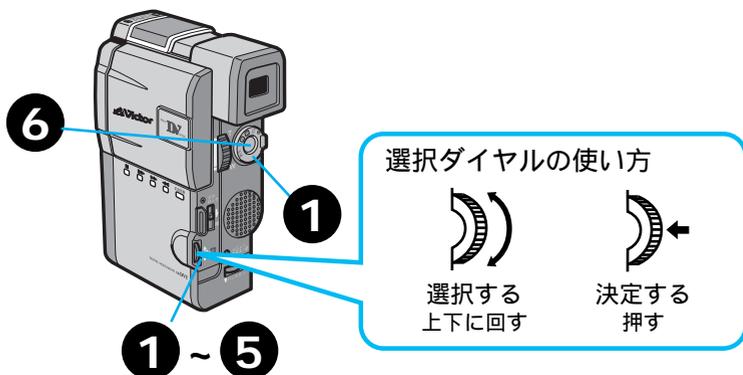
(例) P コーナーワイプ



手動(マニュアル)撮影(つづき)

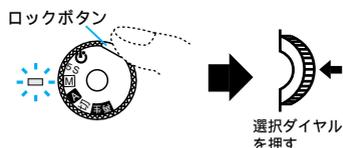
場面切替を設定する

撮影中に、場面と場面のつなぎに変化をつけたいときにお使いください。



例) 場面切替を「ワイプ: ドア」に合わせる

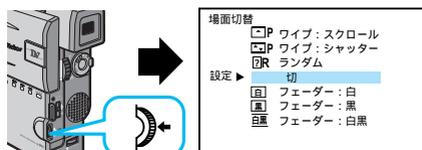
1 電源ダイヤル **M** で、選択ダイヤルを押す



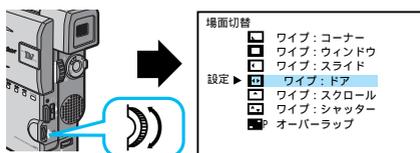
2 選択ダイヤルで「場面切替」に合わせる
上下に回して合わせます。



3 選択ダイヤルを押す

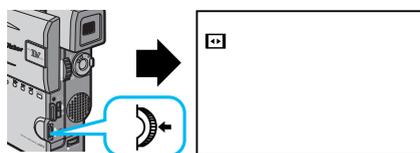


4 選択ダイヤルで「ワイブ：ドア」に合わせる



5 選択ダイヤルを押す

「場面切替設定」画面が消え、選択したメニューが設定されます。
画面の左上に選択したメニューのアイコンが表示されます。



6 スタート/ストップボタンを押す

選択したメニューでビデオを撮り始めます。
もう一度スタート/ストップボタンを押すと選択したメニューでビデオを撮り終えます。画面に「ストップ」と表示されます。



電源を切ってしまったときは

「最後の映像で切替」(アイコンにPの付いている切替)を設定したとき、電源が切れると、ムービーに記憶されている最後の映像が消えてしまいます。このとき、画面切替設定アイコンが点滅しますので、もう一度通常の撮影をしてから場面切替を行ってください。撮影一時停止を5分以上続いても電源が切れますので、注意してください。

場面切替設定をやめたいときは

「場面切替を設定する」の上の手順 ④ で「切」を選択します。

場面切替設定と演出効果設定 (P.58、64ページ) を一緒に使うとさらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えないメニューがあります。

場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

手動(マニュアル)撮影(つづき)

映像に変化をつける(演出効果)

ここでは、映像そのものに変化をつけてビデオを撮る方法を説明します。コマ落としで撮影したり、暗い場所の被写体を明るく撮ることなどができます。

メニューアイコン	効果
1/60 シャッター-1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100 シャッター-1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。
1/250 シャッター-1/250	シャッタースピードを1/250に固定します。動きの早いものを1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。シャッタースピードが早くなればなるほど画面が暗くなるので、できるだけ明るい場所で撮影してください。
1/500 シャッター-1/500	シャッタースピードを1/500に固定します。動きの早いものを1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。シャッタースピードが早くなればなるほど画面が暗くなるので、できるだけ明るい場所で撮影してください。
 夜景	夜景などを撮るとき、映像がガラガラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は  になりますが、お好みの設定に変えることができます。 ピントは、10m～無限遠の間では、自動的に合います。 10m以内の間では、手動で合わせてください。

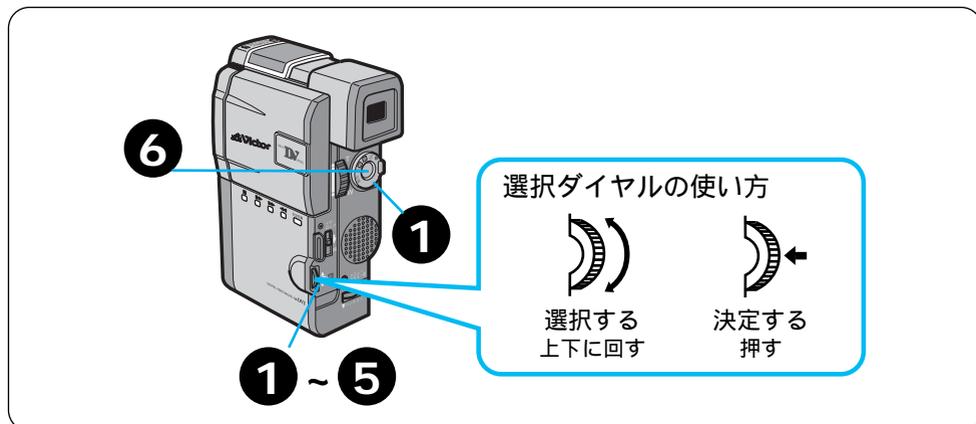
メニューアイコン	効果
 セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」(☞92ページ)と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W ブラック/ホワイト	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
 映画効果	早いコマ落とし効果を付けて映像を記録します。
 ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。
 1 高感度 4倍  2 高感度 10倍	暗い場所の映りにくい被写体を、通常よりも約4倍(シャッター速度:1/15秒)または10倍明るく浮かび上がらせて撮影することができます(シャッター速度:1/6秒)。
切	「演出効果」を使用しないときに選択します。

設定方法は、66ページからです。

手動(マニュアル)撮影(つづき)

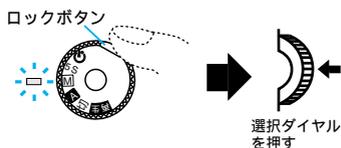
演出効果を設定する

演出効果選択メニューの中から、お好みの効果を1つ選んでお使いになれます。



例) 演出効果を「映画効果」に合わせる

1 電源ダイヤル **M** で、選択ダイヤルを押す



2 選択ダイヤルで「演出効果」に合わせる
上下に回して合わせます。



3 選択ダイヤルを押す

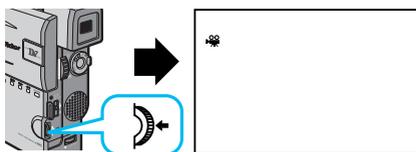


演出効果設定と場面切替設定を一緒に使うとさらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えないメニューがあります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

- 4** 選択ダイヤルで「映画効果」に合わせる
好みの演出効果を選択します。



- 5** 選択ダイヤルを押す
「演出効果設定」画面が消え、選択したメニューが設定されます。画面の左上に選択したメニューのアイコンが表示されます。



- 6** スタート/ストップボタンを押す
選択したメニューでビデオを撮り始めます。
もう一度スタート/ストップボタンを押すと選択したメニューでビデオを撮り終わります。画面に「ストップ」と表示されます。



演出効果設定をやめたいときは上の手順 **4** で「切」を選択します。

シャッターメニューを使うときはシャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります（1/60、1/100、1/250、1/500の順で暗くなります）。できるだけ明るい場所で撮影してください。

高感度メニューを使うときは

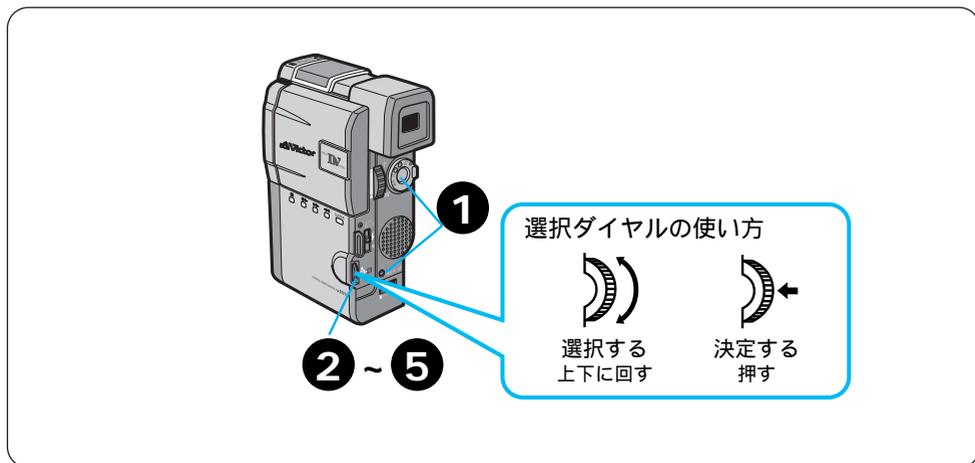
暗いところでのみお使いください。撮影した映像はコマ落としのようになります。手動フォーカス表示が出て点滅したときは、ピントを手動で合わせ、三脚などで固定してください。

デジタルズーム（10倍以上のズーム）にしているときは「映画効果」「ストロボ」「高感度1.2」を設定すると、デジタルズームが解除されます。

色々な再生

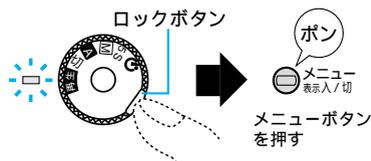
再生音声を切り替える（48kHz音声切替 / 32kHz音声切替）

DV方式には48kHzと32kHzの2つの音声モードがあり、撮影時に指定することができます。ここでは、その音声を再生する方法を説明します。「48kHz音声切替」と「32kHz音声切替」メニューは、お買い上げ時にはそれぞれ「フル音声」と「音声1」に設定されています。本機ではアフレコ編集できません。

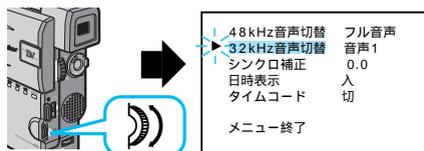


例) 再生音声を「32kHz」、「音声2」に合わせる

1 電源ダイヤル **再生** で、メニューボタンをポンと押す



2 選択ダイヤルで「32kHz」に合わせる
上下に回して合わせます。



3 選択ダイヤルを押す





4

選択ダイヤルで「音声2」に合わせる



48kHz音声切替	フル音声
32kHz音声切替	音声2
シンクロ補正	0.0
日時表示	入
タイムコード	切
メニュー終了	

メニュー名	項目	出力される音声
48kHz	フル音声	撮影時の音声がステレオ音声で再生されます。
	音声1	左(L)の音声が再生されます。
	音声2	右(R)の音声が再生されます。
32kHz	フル音声	撮影時の音声とアフレコ音声と同時にステレオ音声で再生されます。
	音声1	撮影時の音声ステレオ音声で再生されます。
	音声2	アフレコ音声ステレオ音声で再生されます。

5

選択ダイヤルを押す

「音声2」の点滅が消え、選択が確定します。カーソルは自動的に「メニュー終了」に移動します。



48kHz音声切替	フル音声
32kHz音声切替	音声2
シンクロ補正	0.0
日時表示	入
タイムコード	切
→メニュー終了←	

6

選択ダイヤルを押す

メニューを終了し、通常の画面に戻ります。画面に選択した音声の表示がでます。

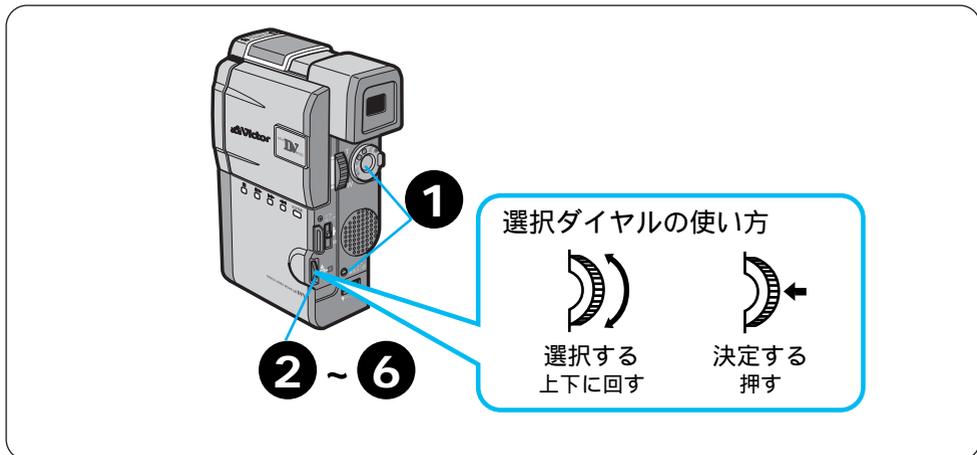


リモコンで再生時の音声を切り替えるときはメニュー選択画面を表示しなくても、「音声切替ボタン」を押すたびに「フル音声 音声1 音声2 フル音声 ...」の順に音声が切り替わります。再生中の音声モードを確認するにはムービーは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

色々な再生（つづき）

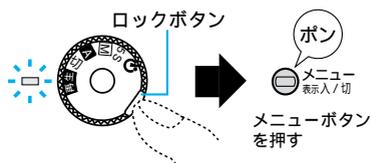
日時の表示

ビデオを撮影すると、撮影した日時が自動的にビデオに記録されます。ここでは、ビデオを再生するときに撮影した日時を表示させる方法を説明します。「日時表示」メニューはお買い上げ時には「入」に設定されています。表示を出すときは「入」、消すときは「切」にします。



例) 日時表示を「切」に合わせる

1 電源ダイヤル**再生**で、メニューボタンをポンと押す



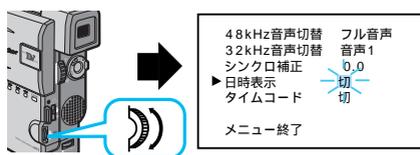
2 選択ダイヤルで「日時表示」に合わせる



3 選択ダイヤルを押す



4 選択ダイヤルで「切」に合わせる



5 選択ダイヤルを押す



6 選択ダイヤルを押す メニューを終了し、通常の画面に戻ります。

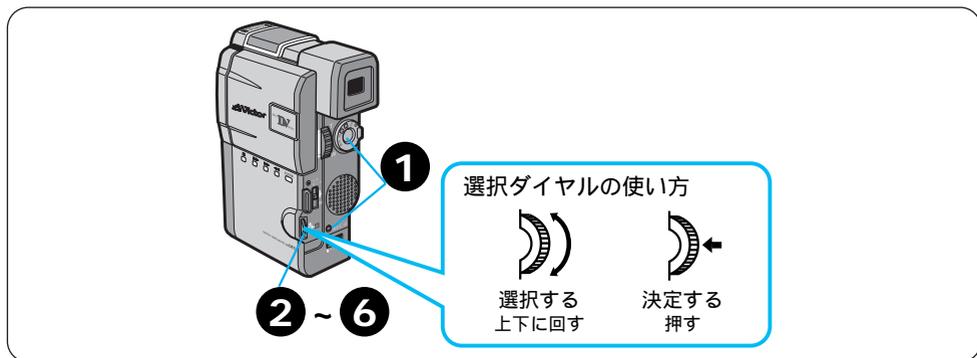


表示が出ないときは
画面表示入/切ボタン ( 25ページ)
を約1秒以上押します。

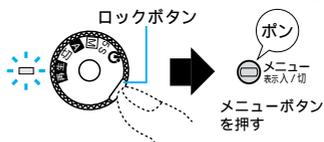
タイムコードの表示

ビデオを撮影すると、タイムコード（ビデオ撮影開始からの「分:秒:フレーム」）が自動的にビデオに記録されます。タイムコードはビデオを編集するときなどに使用します。

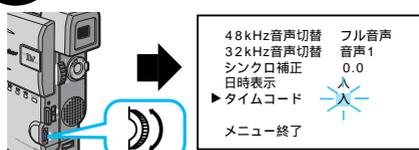
ここでは、ビデオを再生するときにタイムコードを表示させる方法を説明します。「タイムコード」メニューはお買い上げ時には「切」に設定されています。



1 電源ダイヤル**再生**で、メニューボタンをポンと押す



4 選択ダイヤルで「入」に合わせる



2 選択ダイヤルで「タイムコード」に合わせる



5 選択ダイヤルを押す



3 選択ダイヤルを押す

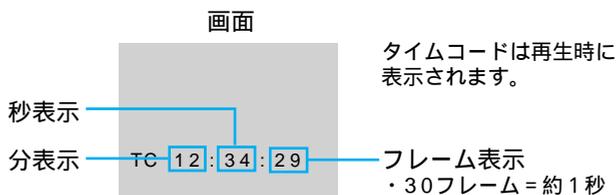


6 選択ダイヤルを押す
メニューを終了し、通常の画面に戻ります。
画面左下にタイムコードが表示されます。

タイムコードと無記録部分

タイムコードとは

撮影中、ムービーはテープの1コマ1コマにタイムコードと呼ばれる数字を記録していきます。タイムコードはテープの再生や編集の際に、映像の位置を確かめる目安になります。自動編集（ 78ページ）などはタイムコードを利用して行います。



早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ムービーがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。

テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります

テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」(分:秒:フレーム)から新たにタイムコードを記録していきます。1本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などの誤動作の原因になります。

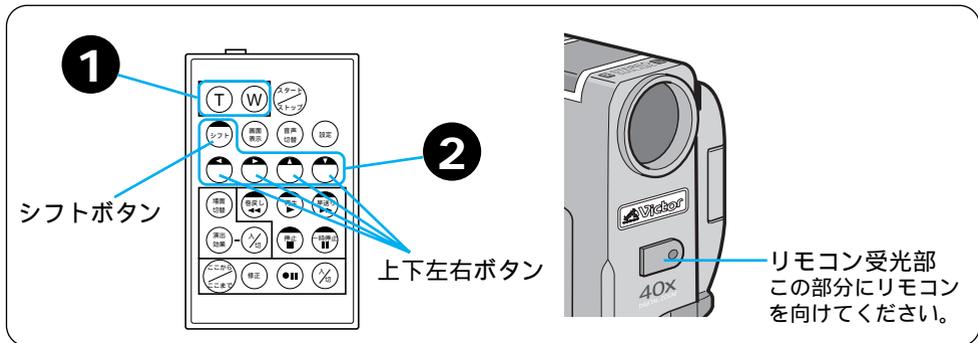
次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。

- 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
- 使い切っていないテープをムービーから出し入れして撮影するとき
- 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき
- 撮影後にテープのテープカバーを開閉した後で撮影するとき

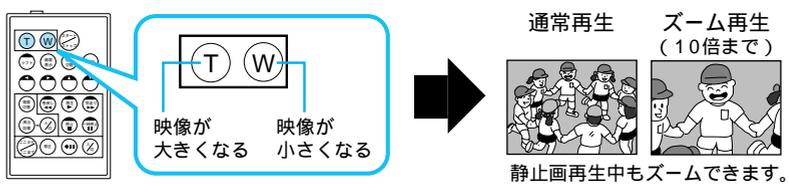


再生ズーム、画面の移動

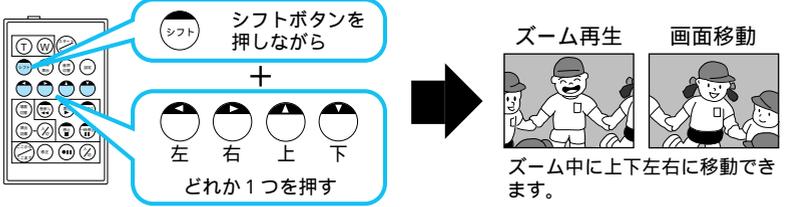
別売のリモコンを使うと、ムービーでビデオを再生しているときに、画面をズームすることができます。また、ズームした映像の中のお好きな場所に画面を移動させることができます。ここでは画面のズームと移動方法を説明します。



1 ムービーの再生中にリモコンの **T** または **W** を押す



2 シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す



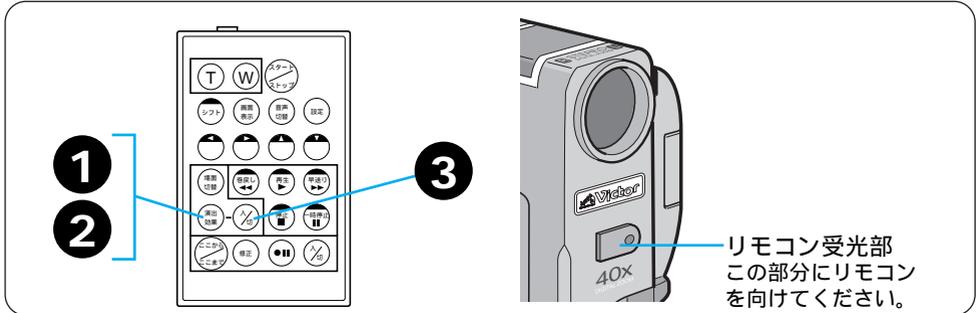
ズームをやめたいときは通常の再生画面の大きさに戻るまで **W** を押します。

ズームしたときの映像は通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。



再生画面に演出効果を加える

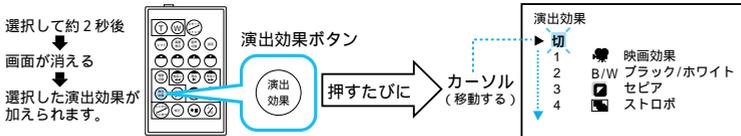
別売のリモコンを使うと、テープを再生しているときに画面に演出効果（ 64ページ）を加えることができます。ここでは再生画面に演出効果を加える方法を説明します。



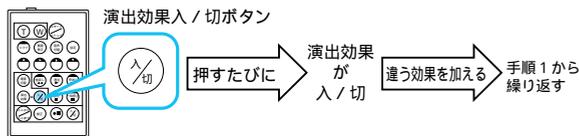
1 ムービーの再生中に リモコンの演出効果ボタンを押す



2 演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ



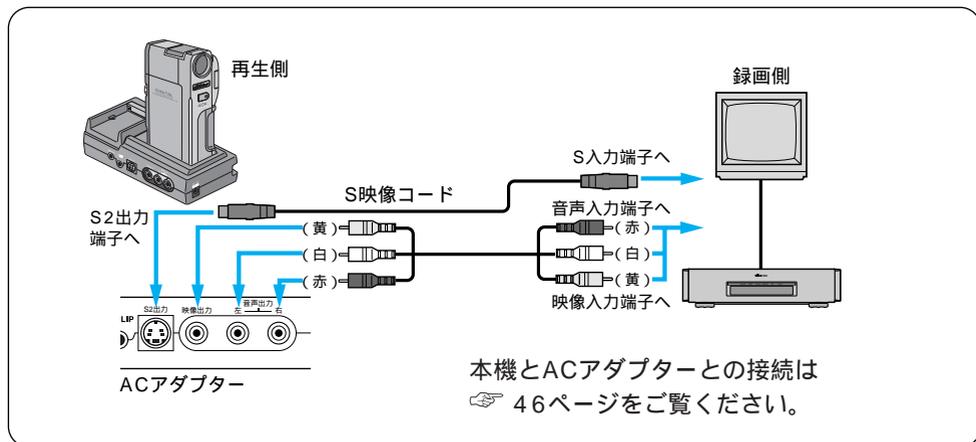
3 演出効果を加えたい場面で 演出効果入/切ボタンを押す





ダビングする

ここでは、本機で撮影したテープをビデオデッキを使ってダビングする方法を説明します。S映像端子付きのビデオデッキとACアダプターをS映像コードを使ってダビングすると、より高画質の映像をダビングできます。



1

電源を入れない状態で

ACアダプターとビデオデッキを接続する

S映像コードでビデオをダビングするときは、ACアダプターのS2出力端子とビデオデッキのS入力端子を接続してください。

2

本機を再生し、ダビングしたいところでビデオデッキの録画ボタンを押す

本機またはリモコンを操作してテープを再生してください。



ビデオデッキでダビングする前にご使用になるビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

カットしたい映像があるときはビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面をテレビや液晶画面に表示させてから再開してください。

ダビングを終了したいときはビデオデッキの録画停止ボタンを押します。

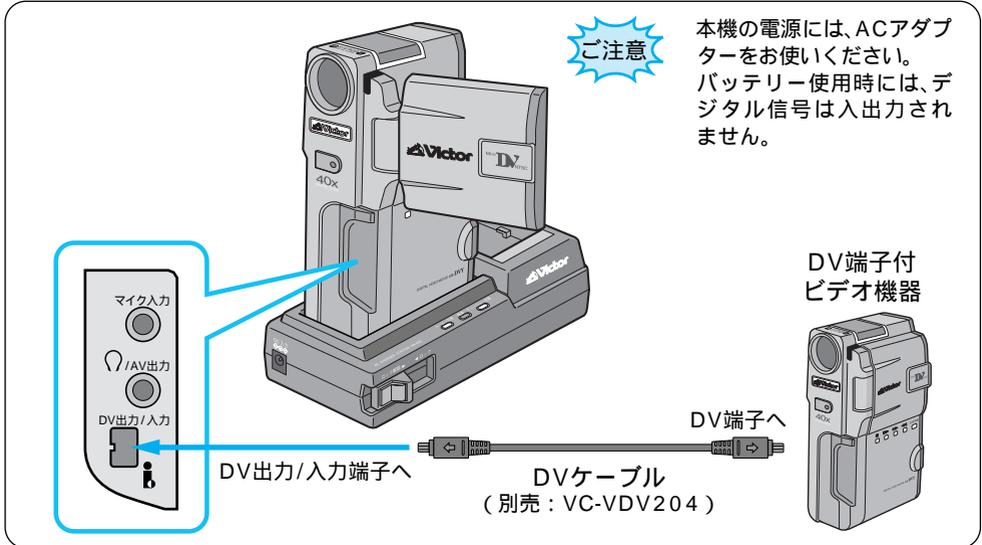
画面に表示されるメッセージを消してダビングしたいときは

テレビの画面に表示されるメッセージは、そのままダビングされます。メッセージを消してからダビングしてください。「音声モード表示」(30ページ)を消したいときは、リモコンの画面表示ボタンを押します。「日時表示」や「タイムコード表示」を消したいときは、メニュー選択画面で「日時表示」または「タイムコード」を「切」に設定します(70、71ページ)。



デジタルダビングする

ここでは、DV端子付ビデオ機器にダビングする方法を説明します。デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。



1

電源を入れない状態で

ムービーとDV端子付ビデオ機器を接続する

DVケーブル(別売)で、ムービーのDV出力/入力端子とDV端子付ビデオ機器のDV端子を接続してください。

2

ムービーを再生し、ダビングしたいところで

DV端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

ムービーまたはリモコンを操作してテープを再生してください。



ムービーでダビングするときは本機と接続できるのは1台だけです。本機で録画も可能です。再生側が無記録部分を再生すると異常な映像が記録されることがあります。再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していてもDV出力端子からは、テープの通常再生映像しか出ません。

本機を録画側として使うときは録画モードを選ぶ(▶▶▶ 94ページ)、電源ダイヤルを「再生」にする。スタートボタンを押し、録画一時停止状態にする。録画一時停止状態で、スタートボタンを押すと録画を開始する。再度スタートボタンを押すと、録画一時停止状態になる。

ビデオを自動で編集する(自動編集)

撮影済みのビデオの中から好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングすることができます。編集する場面と場面の間に場面切替効果(📺 58ページ)を挿入したり、演出効果(📺 64ページ)を使って映像そのものに変化をつけることもできます。自動編集は、ムービー、および別売のリモコン(📺 98ページ)とご家庭のビデオデッキを接続して行います。

ビデオデッキをリモコンに登録する

自動編集では、別売のリモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。ビデオデッキをリモコンに登録しておく、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

1 ビデオデッキの電源を切る



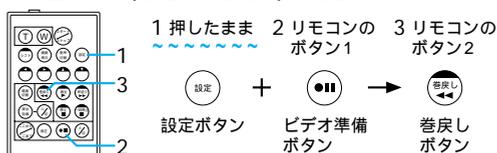
2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する



3 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」(次ページ)に対応したボタンを順番に押す

ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
同じメーカーでも信号の種類は複数あります。
「リモコン信号A」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号B」「リモコン信号C」...の順でボタンを押してください。

例：ビクター(リモコン信号A)の場合



リモコン登録後のビデオの操作方法

シフトボタンを押したまま、ビデオ操作ボタンを押します。



リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	A	●⏮ ビデオ準備	⏮ 巻戻し
	B	●⏮ ビデオ準備	⏹ 停止
	C	●⏮ ビデオ準備	シフト
アカイ	A	⏹ 停止	⏮ 早送り
	B	⏹ 停止	⏮ 再生
	C	ここから/ここまで	ここから/ここまで
サンヨー	A	⏹ 停止	⏮ 再生
	B	シフト	一時停止
	C	シフト	プログラム編集入/切
	D	ここから/ここまで	●⏮ ビデオ準備
シャープ	A	⏮ 巻戻し	一時停止
	B	⏮ 巻戻し	プログラム編集入/切
ソニー	A	⏹ 停止	一時停止
	B	⏹ 停止	プログラム編集入/切
	C	シフト	●⏮ ビデオ準備
	D	シフト	⏮ 巻戻し
東芝	A	⏹ 停止	●⏮ ビデオ準備
	B	⏹ 停止	⏮ 巻戻し
NEC	A	シフト	ここから/ここまで
	B	シフト	修正
日立	A	⏹ 停止	⏹ 停止
	B	⏹ 停止	シフト
フナイ	A	ここから/ここまで	シフト
松下	A	⏮ 巻戻し	シフト
	B	⏮ 巻戻し	ここから/ここまで
	C	⏮ 巻戻し	⏮ 巻戻し
	D	●⏮ ビデオ準備	⏮ 再生
	E	⏮ 巻戻し	修正
三菱	A	⏹ 停止	ここから/ここまで
	B	⏹ 停止	修正



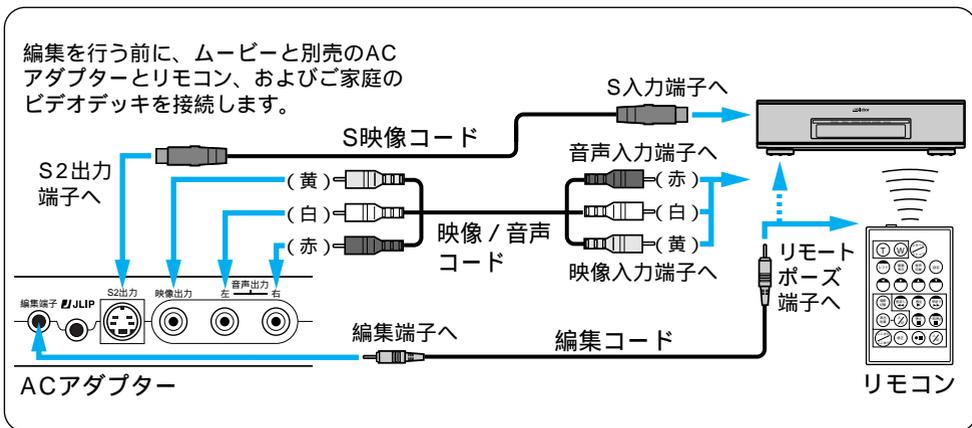
リモコンのボタン電池がなくなったときは設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。ボタン電池を交換してメーカー設定をやり直してください。

リモコンでビデオデッキを操作できないときは機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

編集する(つづき)

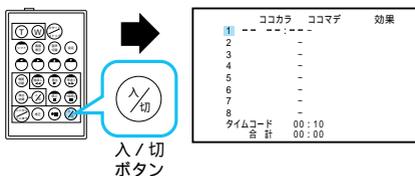
好きな場面を選んでダビングする

撮影済みのビデオの中から好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングします。編集する場面と場面の間に場面切替効果を挿入したり、演出効果を使って映像そのものに変化をつけることもできます。



1

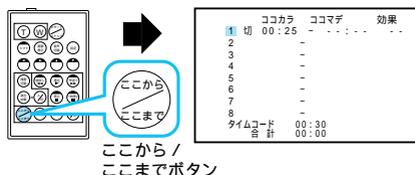
リモコンを使ってビデオを再生し自動編集の入/切ボタンを押す
液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。



2

ムービーの液晶画面やテレビに編集開始場面を表示させ
リモコンのここから/ここまでボタンを押す

ムービーの液晶画面やテレビに編集開始場面のタイムコードが表示されます。

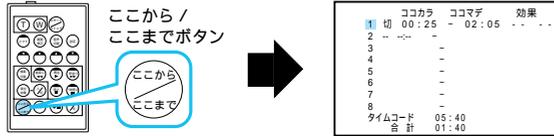


場面の撮り始めに変化を付けたいときは(☞58ページ)リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。ただし、自動編集する最初の場面では映像が記録されていないため、「最後の映像によるコーナーワイプ」などを使用することはできません。

3

ムービーの液晶画面やテレビに編集終了場面の映像を表示させ リモコンのここから/ここまでボタンを押す

ムービーの液晶画面やテレビに編集終了場面のタイムコードが表示されます。



場面の録り終わりに変化を付けたいときは (58ページ)

リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。録り終わりの場面切替効果を決めると、次の編集開始映像が自動的に録り終わりの場面切替効果で始まります。ただし、自動編集する最後の場面では「最後の映像によるコーナーワイプ」などを使用することはできません。また、場面の録り終わりで場面切替効果を使用すると、編集終了時点からフェードアウトやワイプアウトを行うため、その時間がビデオの編集時間に加算されます。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

映像そのものに変化を付けたいときは (75ページ)

リモコンの演出効果ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

4

手順 ②、③ を繰り返して自動編集したい場面を登録する

場面の始めに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンター左側に表示されます。場面の終わりに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの右側に表示されます。場面に演出効果を設定したときは、設定した効果のアイコンが「効果」に表示されます。何も設定していないときは「切」が表示されます。

	ココカラ	ココまで	効果
1	切	00:25 - 02:05	切
2	切	07:18 - 08:31	切
3	切	03:33 - 05:53	切
4	切	09:30 - 13:15	切
5	切	15:55 - 16:10	切
6	--	--	--
7	--	--	--
8	--	--	--
タイムコード		16:20	
合計		09:17	

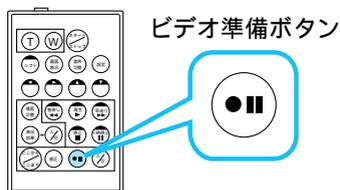
好きな場面を選んでダビングする(つづき)

5 最初に登録した場面1の付近までビデオを巻き戻し、ビデオを一時停止させる

リモコンやムービーの「巻き戻しボタン」でビデオを巻き戻し、「一時停止ボタン」を押します。

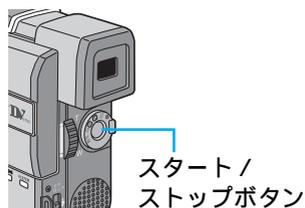
6 ビデオデッキのリモコン受光部に向けてリモコンのビデオ準備ボタンを押す

ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。



7 ムービーのスタート/ストップボタンを押す

自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとムービーが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。



リモコンのスタート/ストップボタンでは始まりません。



ムービーとビデオデッキを停止させ、編集を終了する



画面に表示されるメッセージを消して自動編集したいときは
テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください。

「音声モード表示」を消す → リモコンの画面表示ボタンを押す。
「日時表示」や「タイムコード表示」を消す → 「日時表示」、または「タイムコード」を「切」に設定する。

(自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません)

編集したい場面を早く探したいときは →  43ページ

各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は

編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値(フレーム)が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。

自動編集の登録場面を修正したいときは

リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。



ダビング中のリモコンの位置はビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。

こんなときは自動編集できません

- ・同じタイムコード（☞ 73ページ）が2つ以上存在するビデオでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
- ・編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
- ・編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約5分以内）を超えると、自動編集できません
- ・リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
- ・編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
- ・自動編集中にムービーを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。
- ・テープの頭と終わりは編集できません。

編集終了場面を決めずにダビングしたときはビデオの最後まで自動的にダビングします。

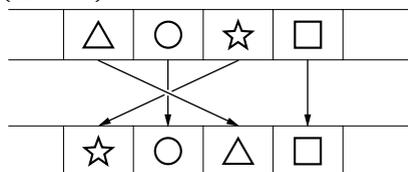


知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは

撮影済みのビデオの中から最大8つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
(ムービー)

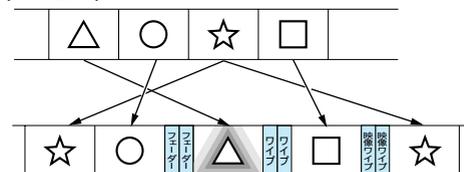


編集済みテープ
(ビデオデッキ)

場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは

自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
(ムービー)



編集済みテープ
(ビデオデッキ)

より正確に自動編集する(シンクロ補正)

ビデオデッキには反応の早いものと遅いものがあります。自動編集(78ページ)でムービーとビデオデッキを同時にスタートさせてもそれぞれ動き出すタイミングが異なるため、余計な場面をダビングしてしまったり、必要な場面をダビングできなかったりすることがあります。そんなときはムービー側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから再度自動編集を行ってください。シンクロ補正は、ムービー、および別売のリモコンとご家庭のビデオデッキを接続して行います。

録画タイミングのズレを確認する

任意の場面を自動編集してみて、ムービーのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレを確認します。

1

適当な場面を1場面だけ自動編集する

録画タイミングのズレを確認するだけなので、自動編集の指定は1場面だけでかまいません。自動編集する場面は、録画タイミングのズレがわかりやすいように場面が切り替わっている場面を指定してください。



2

ダビングしたビデオを巻き戻し、再生する

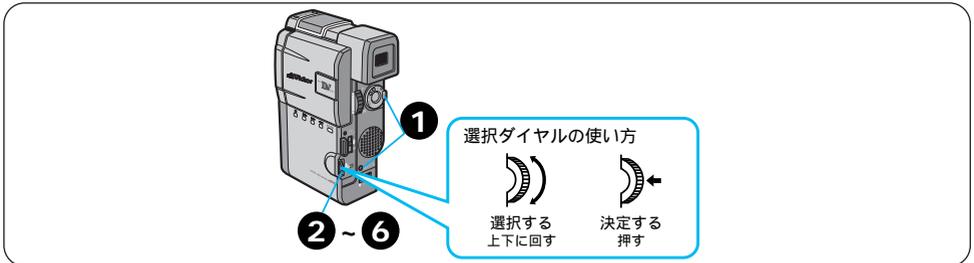
指定した編集開始場面よりも前の場面が録画されているときは、ムービーのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しています。また、指定した編集開始場面よりも後の場面から録画されているときは、ムービーのビデオ再生開始時点よりも後にビデオデッキが録画を開始しています。このようなときは録画タイミングのズレを調節する必要があります。



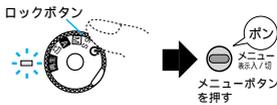
自動編集を行う前に数回自動編集のテストを行って補正值が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。補正しても録画タイミングが合わないときはビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

録画タイミングのズレを補正する

「録画タイミングのズレを確認する」(84ページ)でムービーのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレがあったときは、録画タイミングのズレを補正します。



1 電源ダイヤル再生で、メニューボタンを押す



- 1.3 ~ +1.3秒まで、0.1秒単位で補正值を設定することができます。ムービーのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しているときは、マイナス(-)の値を設定します。ムービーのビデオ再生開始場面よりも後にビデオデッキが録画を開始しているときは、プラス(+)の値を設定します。選択ダイヤルを上に戻すと数値が大きくなります。下に回すと数値が小さくなります。ここでは「+1.0」を設定します。

2 選択ダイヤルで「シンクロ補正」に合わせる



3 選択ダイヤルを押す



5 選択ダイヤルを押す



4 選択ダイヤルで「シンクロ補正」の数値を設定する



6 選択ダイヤルを押す メニューを終了し、通常の画面に戻ります。

設定を変える

システム設定メニューについて

ここでは、電源ダイヤルで **M**、【5S】、 (セルフタイマー) を選択しているときにメニューボタンを押して、ムービーのシステム設定を変更する方法を説明します

メニュー名	概要	設定内容
記念写真	<ul style="list-style-type: none">・ワク有り/無し : 白枠の有り無しを選択できます。・ピンナップ : 白枠と影をつけて写真が浮き上がったような効果をつけます。・4/9マルチ : 1/4または1/9の大きさに4または9ショット分を連続撮影します。( 40ページ)	ワク有り/無し/ピンナップ 4マルチ/9マルチ
シーン	<ul style="list-style-type: none">・「5S」 : スタート/ストップボタンを押すと、自動的に約5秒間撮影します。・「5SD」 : 5秒撮り撮影の後、5分以内に再び5秒撮り撮影を行うと、前の映像の最後(静止画)に約2秒間映像を重ねて撮影してから(オーバーラップ撮影)5秒撮り撮影を行います。・「アニメ」 : スタート/ストップボタンを押すと約1/8秒間撮影を行います。これを繰り返すことで、アニメーションのような映像を撮ることができます。	5S /5SD/アニメ
ブザー/タリー	<ul style="list-style-type: none">・「入」 : ムービーの動作確認音、記念写真の「カシャッ」という効果音、撮影中ランプ(タリーランプ)の点灯がオンになります。・「切」 : オフになります。ただし、記念写真の「カシャッ」音は、テープに録音されます。	入 /切
ボイス ポジション	<ul style="list-style-type: none">・「入」 : 風による雑音など軽減して録音します。画面に  が表示されます。・「切」 : 自然のままの音を録音します。	切 /入
音声モード	<ul style="list-style-type: none">・「32kHz」 : 音声モードは32kHzに切り替えられますが、本機でアフレコ編集はできません。・「48kHz」 : アフレコ編集できません。	32kHz /48kHz
IDナンバー	<ul style="list-style-type: none">・別売のJLIPプレーヤーパックなどを使ってパソコンやJLIP対応のAV機器からムービーを操作するときに必要なIDナンバーを設定することができます。	01 ~ 99 (06)
デモモード	<ul style="list-style-type: none">・「入」 : 演出効果などをデモンストレーションで確認できます。電源を切/入すると、デモモードは「切」になります。カセットが入っていると、デモモードを「入」にすることができません。	切 /入

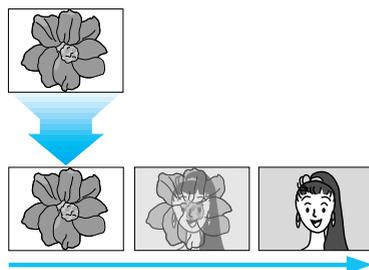
*最初に設定されている内容は、 で示してあります。

設定方法は、88ページです。



シーン

- ・連続5秒撮り撮影でオーバーラップ撮影したときは（5SD）次のように映像が記録されます。



- ・「録画モード」をLPでアニメ撮影したときは「LP」が点滅し、SPモードで記録されます。

音声モード

- ・ビデオと一緒に録音される音声は32kHzモード録音では2つのステレオ音声のうち、1つのステレオ音声に録音されます。残りのステレオ音声を使って、後から他のデジタルムービーを使用して、アフレコ編集することができます。48kHzモード録音では1つのステレオ音声しかないため、後でアフレコ編集することはできません。本機ではアフレコ編集できません。

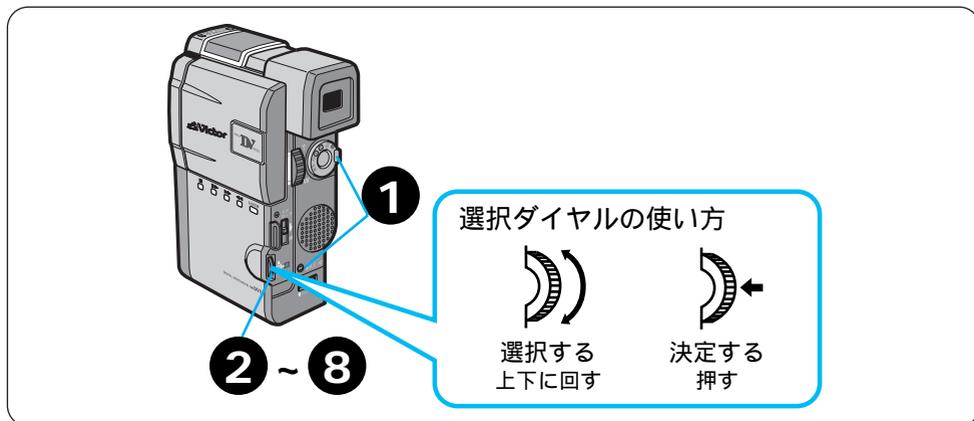
48kHzモードの場合		32kHzモードの場合			
左	右	左	右	左	右
L	R	L1	R1	L2	R2

で印の付いているチャンネルに録音します。

設定を変える（つづき）

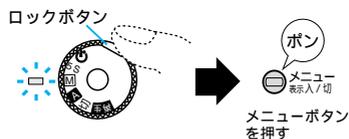
システム設定メニューの設定方法

ここでは、システム設定メニュー共通の設定方法を説明します。



例) シーンを変更する

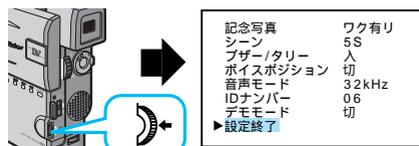
- 1** 電源ダイヤル **M** で、メニューボタンをポンと押す
「5S」や セルフタイマーでも設定できます。



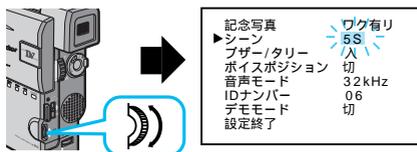
- 2** 選択ダイヤルで「システム設定」に合わせる



- 3** 選択ダイヤルを押す
「システム設定」のサブメニューが表示されます。



4 選択ダイヤルで「シーン」に合わせる



5 選択ダイヤルを押す カーソルの点滅が止まり、設定内容が点滅します。



6 選択ダイヤルで「5S」に合わせる

選択ダイヤルを左右に押すたびに、設定可能な項目が点滅表示されます。ここでは「5S」を選択します。

7 選択ダイヤルを押す

「5S」の点滅が消え、選択が確定します。カーソルは自動的に「設定終了」に移動します。

8 選択ダイヤルを2回押す

メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

設定を変える（つづき）

日時設定メニューについて

ここでは、電源ダイヤルで **M**、【5S】、（セルフタイマー）を選択しているときにメニューボタンを押して、ムービーの画面に表示されるメッセージの表示方法や日時を変更する方法を説明します。

メニュー名	概要	設定内容
オンスクリーン	<ul style="list-style-type: none">・「入」:メッセージが画面に表示されます。・「切」:メッセージが画面に表示されません。	切 / 入
日時表示	<ul style="list-style-type: none">・「入」:ビデオの再生中にムービーの液晶画面やテレビに日時が表示されます。・「切」:日時が表示されません。	入 / 切
年月日時計	<ul style="list-style-type: none">・選択ダイヤルを押すと「年月日」「時計」の「年」が点滅します。選択ダイヤルを上下に回して「年」を合わせます。選択ダイヤルを上に戻すと数値が大きくなります。下に回すと小さくなります。数値を表示させて選択ダイヤルを押し、「月」「日」「時」「分」の順で合わせます。・年は西暦の下2ケタで合わせます。・時計は12時間表示方法です (AMは午前、PMは午後)<ul style="list-style-type: none">・AM12:00 夜中・PM12:00 正午	現在の年月日と現在の時刻が表示されています。

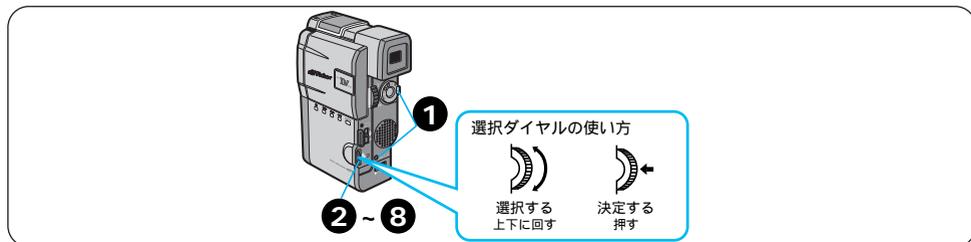
* 最初に設定されている内容は、 で示してあります。



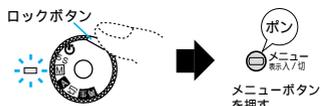
「日時を設定して下さい!」が表示されたときは、時計用電池（内蔵）がなくなっています。ムービーにバッテリーやACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。時計用電池が充電されます。

日時設定メニューの設定方法

ここでは、日時設定メニュー共通の設定方法を説明します。



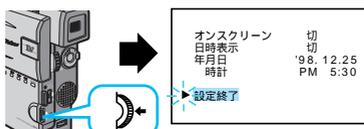
1 電源ダイヤル で、メニューボタンをポンと押す「5S」や セルフタイマーでも設定できます。



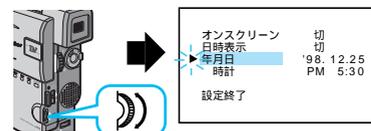
2 選択ダイヤルで「日時設定」に合わせる



3 選択ダイヤルを押す



4 選択ダイヤルで「年月日」(選択したい内容に)に合わせる



5 選択ダイヤルを押す



6 選択ダイヤルで「98」に合わせる

選択ダイヤルを上下に回すたびに、数字が点滅表示されます。ここでは「98」に合わせます。

7 選択ダイヤルを押す
「98」の点滅が消え、選択が確定します。点滅表示は自動的に「12」に移動します。月日についても同様に **6** ~ **7** を繰り返します。

8 選択ダイヤルを2回押す
メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

設定を変える(つづき)

撮影機能の設定メニューについて

ここでは、電源ダイヤルで **M**、【5S】、**☺** (セルフタイマー) を選択しているときに、メニューボタンを押してより効果的な撮影を行う方法を説明します。

メニュー名	概要	設定内容
録画モード	撮影する際のテープの送り速度を変えることができます。「LP」は「SP」に比べてテープの速度が遅くなるため、撮影時間は「SP」の1.5倍です。「SP」で撮影すると、あとで他のデジタルムービーを使用して「アフレコ編集」「インサート編集」をすることができます。	SP / LP
ワイド効果	「ワイド」を選択すると、ワイドテレビにピッタリの横長の画面を撮ることができます。「シネマ」を選択すると、映画のように画面の上下に黒い帯が入った映像を撮ることができます。	切 / ワイド / シネマ
ズーム	ズームできる最大倍率を、10倍、40倍、100倍から選択することができます。	10倍 / 40倍 / 100倍
手ぶれ補正	撮影中に生じる小さな揺れを自動的に補正することができます。設定が「入」になっているときは、画面に「手ぶれ」と表示されます。	入 / 切
感度アップ	「オート」に設定すると暗いところでも画面が明るくなるように撮影します。この機能を「切」に設定することで、見ている明るさそのままをビデオに撮ることができます。	AGC / オート / 切

* 最初に設定されている内容は で示してあります。

設定方法は、94ページからです。

各メニューの補足説明

録画モード

- ・本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他社のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。LPモードで撮影する場合は、MEタイプのカセットテープをお使いください。

ワイド効果

- ・普通のテレビ（画面比率4:3）やファインダー、液晶画面で見るときはワイド映像は、撮影時、再生時ともに縦長の映像が映ります。シネマ映像は、撮影時、再生時ともに上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- ・ワイドテレビで再生するときはワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。S2端子をS映像コードでワイドテレビに接続してください。S2端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。S1端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1端子がないときは、S端子に接続してください。自動判別はできません（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- ・ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときはワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- ・ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。
- ・「最後の映像で切替」（アイコンにPの付いている切替）を設定したとき、記念写真はできません。

ズーム

- ・10倍以上のズーム（デジタルズーム）を使うときは10倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10倍以上は映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。（ 92ページ）

手ぶれ補正

- ・デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。
- ・フルオートモードの手ぶれ補正は「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。
- ・三脚などでムービーを固定して撮影するときは「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- ・手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは、補正できないことがあります。
- ・手ぶれ補正が働かないときは、液晶画面の「手ぶれ」表示が点滅します。

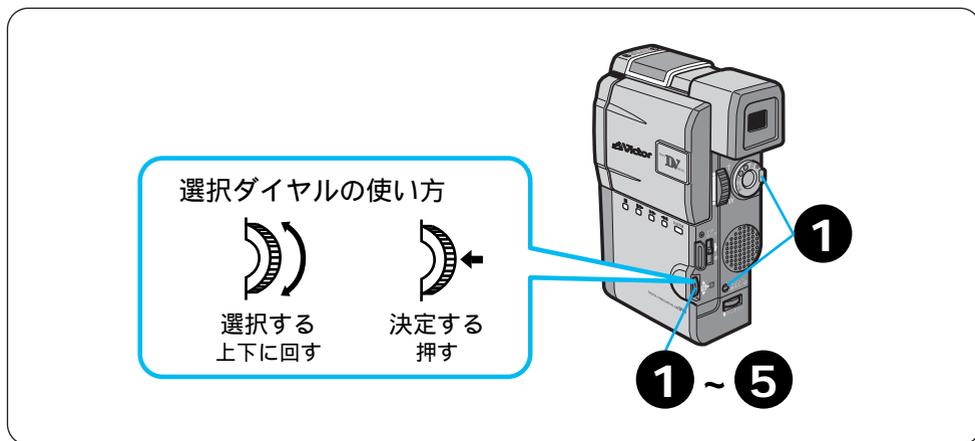
感度アップ

- ・「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
- ・「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし被写体の動きは多少不自然になります。

設定を変える(つづき)

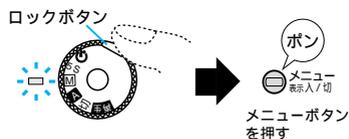
撮影機能の設定方法

ここでは、システム設定メニュー共通の設定方法を説明します。



例) 録画モードを「LP」に変更する

- 1** 電源ダイヤル で、メニューボタンをポンと押す
「5S」や セルフタイマーでも設定できます。



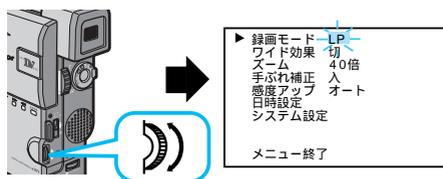
- 2** 選択ダイヤルで「録画モード」に合わせる



- 3** 選択ダイヤルを押す



4 選択ダイヤルで「LP」に合わせる



5 選択ダイヤルを押す
「LP」の点滅が消え、選択が確定します。カーソルは自動的に「メニュー終了」に移動します。



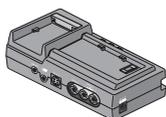
6 選択ダイヤルを押す
メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

アクセサリ関連

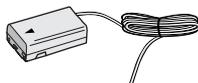
アクセサリキット(別売)

ムービーをご使用になるには、別売のアクセサリキット(VU-V65KIT)をお買い求めください。

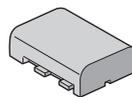
アクセサリキット VU-V65KIT



ACアダプター
(ACチャージャーステーション)
AA-V60



DCコード
長さ:約2.0m



バッテリー
BN-V607



グリップベルト



リモコン
RM-V712



リモコン用ボタン電池
CR2025 (動作確認用)



編集コード
長さ:約1.5m
自動編集用



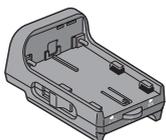
映像/音声コード(3.5)
3.5 ミニプラグ
ピンプラグ×3
長さ:約1.5m
ムービーとテレビ、
またはビデオ接続用



S映像コード
長さ:約1.5m
ムービーとS映像対応
のテレビ、またはビデオ
接続用



映像/音声コード
長さ:約1.5m
ピンプラグ×3
ACアダプターとテレビ
またはビデオの接続用



バッテリーアダプター

その他の別売アクセサリ:

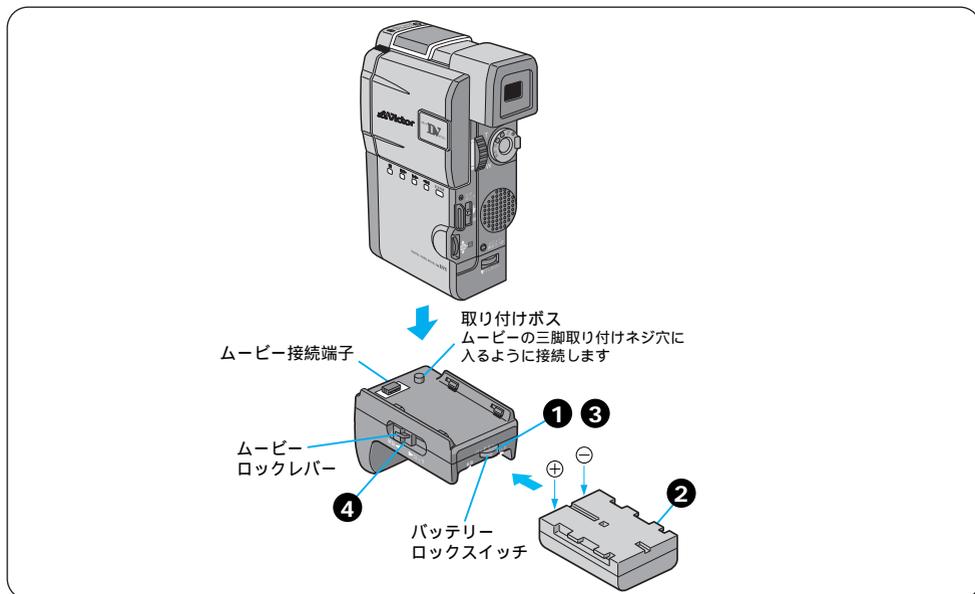
DVケーブル	VC-VDV204
ACアダプター/チャージャー	AA-V68
ショルダー&ネックストラップ	CU-V550
トラベルポーチ	CB-V640
スポーツジャケット	CB-V111



別売アクセサリキットの取扱説明書も合わせてご覧ください。

バッテリーアダプター(別売のVU-V65KITに付属)

バッテリーアダプターにバッテリーを1個セットして、本体内のバッテリーと同時に使用できます。長時間撮影に便利です。



取り付けかた

- 1** バッテリーロックスイッチを「解除」側にスライドさせる
この状態でバッテリーを入れます。
- 2** 充電済バッテリーを⊕、⊖が上になるように取り付ける
- 3** バッテリーロックスイッチをロック側にスライドさせる
- 4** バッテリーアダプターにムービーを取り付け、ムービーロックレバーを、ロック側にスライドさせる
ムービーに接続するときは、取り付けボスをムービーの穴に合わせます。
取り外すときはロックレバーを押しながら解除側に引きます。

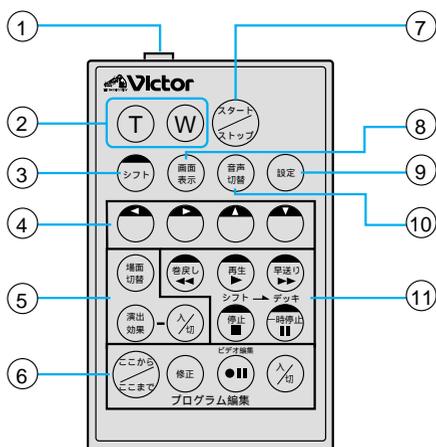
ご注意

バッテリーの落下防止のためバッテリーを取り付けたら、バッテリーロックスイッチを必ず「ロック」側にスライドさせてお使いください。

アクセサリ関連(つづき)

リモコン(別売)

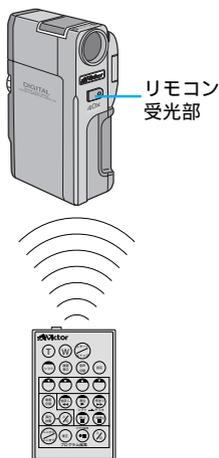
別売のアクセサリキットに付属のリモコンを使って、テープの再生中や編集中に、ムービーを操作することができます。ムービーのリモコン受光部に向けて使用します。



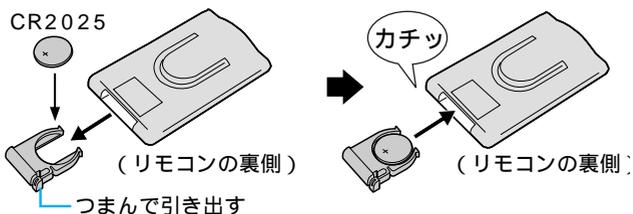
リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約5mです。

ムービーのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ムービーのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとムービーが誤動作したり、動作しないことがあります。



リモコン電池の入れかた



ボタン名		ボタンの機能	参照ページ
	リモートポーズ(入力)端子	編集コード(Ⓜ 96ページ)でムービーを接続します。	80
Ⓣ	【T】ズームボタン	【T】を押すと映像が大きくなります。	36,74
Ⓦ	【W】ズームボタン	【W】を押すと映像が小さくなります。	
シフト	シフトボタン	拡大した再生映像上下左右に動かすときに、押します。 また ビデオデッキを操作するときに押します。	74, 78
	左ボタン	再生ズームした映像を左に動かします。	74
	右ボタン	再生ズームした映像を右に動かします。	74
	上ボタン	再生ズームした映像を上を動かします。	74
	下ボタン	再生ズームした映像を下に動かします。	74
場面切替	場面切替ボタン	ビデオの自動編集中に使用したい場面切替効果を選択します。	58, 81
演出効果	演出効果ボタン	ビデオの再生中や自動編集中に使用したい演出選択をします。	75
入/切	演出効果入/切ボタン	ビデオ再生映像に演出効果するときに押します。	75
ここから/ここまで	ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定するときに使用します。	80
修正	修正ボタン	自動編集を修正するときに使用します。	82
●	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオを録画停止にします。	82
入/切	入/切ボタン	自動編集をするときに押します。	80
スタート/ストップ	スタート/ストップボタン	撮影のスタート/ストップを行います。	81
画面表示	画面表示ボタン	テレビに出てくるメッセージを出したり、消したりします。	
設定	設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定します。	78
音声切替	音声切り替えボタン	再生時の音声を切り替えます。	69
巻戻し	巻戻しボタン	巻き戻すときに押します。	-
再生	再生ボタン	再生するときに押します。	-
早送り	早送りボタン	早送りするときに押します。	-
停止	停止ボタン	停止するときに押します。	-
一時停止	一時停止ボタン	一時停止するときに押します。	

故障かな？と思ったら

このムービーはマイコンを使用しています。

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはムービーから電源（バッテリー、ACアダプターなど）を外し、リセットボタン（ 25ページ）を押したあと、あらためてご使用ください。

それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	電源が入らない	電源は正しく接続されていますか？ バッテリーは充電されていますか？ 液晶画面を開いていますか？ またはファインダーを引き出していますか（撮影時）？	17 18 28
	「日時を設定して下さい！」が表示される	内蔵の時計用電池がなくなっています。ACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。	18
撮影中	撮影できない	テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ 「テープオワリ」になってませんか？ 電源ダイヤルが 再生 になっていませんか？ カセットカバーが開いていませんか？	109 31 25 21
	映像が出ない	電源をもう一度入れ直してみてください	25
	メニューボタンの機能が使えない	電源ダイヤルが A になっていませんか？	25
	選択ダイヤルの機能が使えない	電源ダイヤルが A 【5S】  （セルフタイマー）になっていませんか？	25
	自動でピントが合わない	「フォーカス」が「手動」になっていませんか？ 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	50 51 111
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	「日時表示」を「切」にしていませんか？ 対面撮影していませんか？ 画面表示入/切ボタンを約1秒以上押してみてください。	70 35 25
	5秒撮影で5秒以内に撮影が終わってしまう	「シーン」で「アニメ」を選んていませんか？	86
	記念写真撮影ができない ズームできない	「ワイド効果」で「ワイド」を選択しているときは、記念写真撮影ができません。	92
	デジタルズームできない	「ズーム」が「10倍」に設定されているときは10倍ズームまでしかできません。 「場面切替」で最後の映像ワイプ効果や「オーバーラップ」を選択しているときはズームは使えません。 「シーン」で「5SD」を選択し、電源ダイヤル【5S】（5秒撮り撮影モード）で撮影しているときは、ズームは10倍ズームまでしか使えません。 ズーム中に連続5秒撮り撮影でオーバーラップ撮影すると、デジタルズームは解除されます。	92 59 86 59

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	「演出効果」や「場面切替」機能が使えない	電源ダイヤルが A 、または【5S】になっていませんか？	25
	「場面切替」の最後の映像（静止画）での切替が使えない	最後の場面を記憶している状態になっていますか？ 最後の場面を撮影した状態で、電源ダイヤルを「切」にしませんでしたか？ 電源が切れていませんか（撮影一時停止を5分以上続けると、自動的に電源が切れます）？	59 25 33
	「場面切替」の「オーバーラップ」が使えない	最後の場面を記憶した状態で「演出効果」を設定、変更しませんでしたか？ 「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」「高感度」を選択していませんか？ 「ワイド効果」で「ワイド」を選択していませんか？ 選択しているときは使えません。	64 65 92
	「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイブ効果が使えない	「演出効果」の「高感度」を選択していませんか？ 「ワイド効果」で「ワイド」や「シネマ」を選択していませんか？	65 92
	「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない	「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	65
	「演出効果」の「映画効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない	「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイブ効果や「オーバーラップ」で撮影していませんか？ 連続5秒撮り撮影でオーバーラップ撮影していませんか？	58 87
	「白バランス」が設定できない	「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	65
	撮影したビデオの縦に明るい線が出る	強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？ 被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	—
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	液晶画面の角度や明るさを調節してください。 寒い場所でビデオを再生していませんか？ 寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	22 — —
	液晶画面の裏側が熱くなる	液晶画面を長時間使用していませんか？ 長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るが電源を切つてしばらく放置しておくもと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？ 液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくもと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	「場面切替」「演出効果」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	58,64,92

故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	液晶画面にメッセージなどの表示が出ない	「オンスクリーン」を「切」にしていませんか？ 画面表示入/切ボタンを約1秒以上押してみてください。	90 25
	撮影中に音声が聞こえない	ヘッドホン端子の音量は、再生状態で調節してください。	43
再生中	液晶画面の映像が乱れる	テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	再生、巻戻し、早送りができない	電源ダイヤルが A M 【5S】 (C) （セルフタイマー）になっていませんか？	25
	テープは回っているが再生されない	カセットカバーが開いていませんか？ テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか？	25 45
その他	液晶画面に「E01」など、Eの付いた数字が表示される	拡大故障を防ぐため、ムービーが操作できなくなります。バッテリーなど電源を取り外し、数分待って表示が消えてからお使いください。2,3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。テープを傷める場合がありますので、テープを取り出さないでください。	31
	液晶画面に映像が表示されない	ファインダーを引き出していないですか？ 液晶画面の明るさを調節してみてください。 液晶画面を180°回転しているときは、液晶画面を一度確実に開いてください。	32
	ACアダプターの充電ランプがつかない	低温（10 以下）や高温（30 以上）で充電していませんか？ 10～30 の環境で充電してください。周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止されることがあります。	18
	テープが入らない	テープの向きが間違っていないですか？ バッテリーの容量が少なくなっていないですか？	21 31
	持ち運び中にレンズシャッターが開くことがある	衝撃があると開くことがあります。 電源を入れ直すと、元に戻ります。	—

海外でお使いになるときは

別売のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など		 主にオーストラリア		 主にヨーロッパ

現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国は以下の通りです。

アメリカ合衆国	バミューダ	パナマ	エクアドル
プエルトリコ	バハマ	エルサルバドル	ベネズエラ
バルバドス	カナダ	ペルー	ミャンマー
キューバ	米領サモア	ベトナム	グアム
ボリビア	フィリピン	韓国	グアテマラ
ホンジュラス	チリ	コスタリカ	ミクロネシア
ドミニカ	コロンビア	メキシコ	スリナム
トリニダード・ドバゴ	台湾	ニカラグア	ハイチ



再生できるテープは日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。

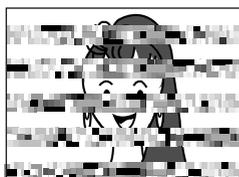
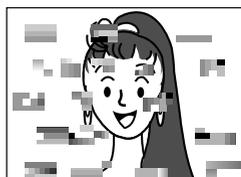
ムービーが海外で故障したときは日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。海外でのアフターサービスは行っておりませんので、ご了承ください。

日常のお手入れ

ヘッドの汚れを取る

ムービーを長時間使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

- ・ 撮影中にヘッド目づまり表示  ( 31ページ) が出る
- ・ 再生しても音や映像が出ない (青い画面になる)
- ・ 再生すると、映像がモザイク画 (ブロック状のノイズ) になる
- ・ 再生すると、映像に黒色やモザイク画の横しまが出る



このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー (M-DV2CL) テープをムービーで再生して、ヘッドを清掃してください。

M-DV2CLを長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。(ムービーでM-DV2CLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します)



詳しくはM-DV2CLの取扱説明書をご覧ください。



M-DV2CLでクリーニングしても鮮明な映像が映らないときはヘッドが摩耗しています。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

定期点検を行ってください

ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ムービーの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間1000時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

本体の汚れを取る

バッテリーやACアダプターを外して電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

- ・ 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- ・ ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。



ベンジンやシンナーは使用しないでください。ボディの損傷や故障の原因になります。化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときはご使用になる製品の注意書きに従ってください。

レンズや液晶画面の汚れを取る

市販のレンズブローでほこりを落とし、添付のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパー等で汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、かびなどが発生することがあります。

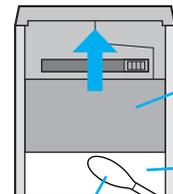
ファインダー内部の汚れを取る

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー引きだし、下のすき間から綿棒などでゴミ、汚れを取ってください。終わったらファインダーを確実に閉めてください。

1 ファインダーを引き出す



ファインダーの下側



2 上にずらす

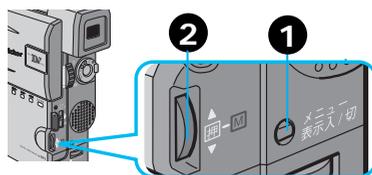
すき間

3 綿棒などで下のすき間から拭きとる

メニュー一覧

メニューボタン表示

撮影側

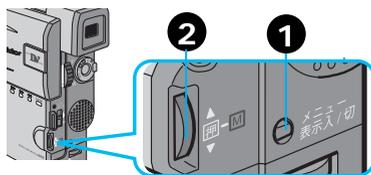


- 1 メニューボタンをポンと押して表示させます。
- 2 選択ダイヤルを回して設定します。

メニュー名	サブメニュー名	選択項目	初期値
録画モード	なし	SP/LP *	SP
ワイド効果	なし	切/ワイド/シネマ	切
ズーム	なし	10倍/40倍/100倍	40倍
手ぶれ補正	なし	入/切	入
感度アップ	なし	AGC/オート/切	オート
日時設定	オンスクリーン	切/入 *	切
	日時表示	切/入	入
	年月日 時計	現在の年月日、時刻を表示	出荷時に現在年月日、時刻を設定
システム設定	記念写真	ワク有り・無し/ピンナップ/4・9マルチ	ワク有り
	シーン	5S/5SD/アニメ	5S
	ブザー/タリ-	入/切 *	入
	ボイスポジション	切/入	切
	音声モード	32 kHz/48 kHz *	32 kHz
	IDナンバー	01 ~ 99まで設定可能	06
	デモモード	切/入	切

* : 電源ダイヤルを **A** に戻しても設定内容を記憶している項目

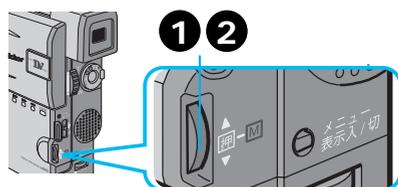
再生側



- 1 メニューボタンをポンと押して表示させます。
- 2 選択ダイヤルを回して設定します。

メニュー名	選択項目	初期値
48kHz音声	フル音声/音声1/音声2	フル音声
32kHz音声	フル音声/音声1/音声2	音声1
シンクロ補正	-1.3 ~ +1.3	0.0
日時表示	入/切	入
タイムコード	切/入	切

選択ダイヤル表示



- ① 選択ダイヤルを押して表示させます。
- ② 選択ダイヤルを回して設定します。

メニュー名	選択項目	初期値
フォーカス	オート/マニュアル *	オート
明るさ補正	オート/マニュアル *	オート
白バランス	オート/マニュアル (☁️ ☀️ 🌧️ 🌲)	オート
場面切替	フェーダー：白、黒、白黒、モザイク ワイプ：コーナー、ウィンドウ、スライド、 ドア、スクロール、シャッター、 ランダム、オーバーラップ	切
演出効果	シャッター1/60、シャッター1/100、 シャッター1/250、シャッター1/500、夜景、 セピア、ブラック/ホホワイト、映画効果、スト ロボ、高感度4倍、高感度10倍	切

*：電源ダイヤルを **A** にすると、「オート」に戻る項目

使用上のご注意

ムービーについて

本機はDV方式のデジタルビデオムービーです。

従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません



電源(バッテリーやACアダプター、およびバッテリーアダプター)を外すときは、必ず電源が「切」になっていることを確認してください。

- ・ムービーの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。

長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。

- ・長時間電源を入れたままにしておくと、ムービーの表面が温かくなります。長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

ムービーを保管するときはカセットを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。

- ・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。

- ・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出る場合があります。

- ・ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点や黒い点が出る場合があります。これらはテープに記録されません。

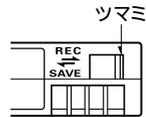
カセットについて

本機はDV方式のデジタルビデオムービーです。

^{Mini} **DV** マークの付いたデジタルビデオカセットをご使用ください。

大切な録画を消してしまわないように注意してください。

- ・保存しておきたい録画済みカセットは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。



事前に試し撮りをしてください。

- ・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

内容の補償についてはご容赦ください。

- ・万一、ムービーおよびカセット等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

権利者に無断で使用できません。

- ・あなたがムービーで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

撮影を制限している場所があります。

- ・鑑賞や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

モザイク状のノイズが出る場合があります。

- ・LPモードで録画されたカセットは、他のLPモードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

カセットは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。

使用上のご注意（つづき）

バッテリーについて

リチウムイオンバッテリーの特性

- リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にムービーに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ムービーの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。



リチウムイオンバッテリーの保存

- 充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
- しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。

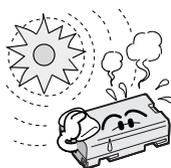
<残りの容量を使い切るには>

テープを入れずに電源を入れる。

ムービーの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す

- 長期間保存する場合は、年に一回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをムービーやACアダプターから取り外してください。
- 付けたままにしておく、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
- 涼しい所で保存してください。
- 周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した所をおすすめします。
- 暑い所や極端に寒い所は避けてください。

充電後や使用後は、バッテリーが温かくなることがあります。充電直後でも使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。



時計用電池について

- 日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ムービーに、バッテリーやACアダプターなどの電源を接続すると常に充電されますが、使わずに保管していると約3ヵ月で放電され、日時が消えてしまいます。このようなときは、24時間以上ACアダプターなどの電源を接続してください。電源の入/切に関係なく電池が充電されますので、日時を合わせてムービーをお使いください。日時の合わせ方については、90ページをご覧ください（日時を合わせなくても、ムービーで撮影をすることはできます）。

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ムービーでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

つゆつきはこんなときに起こります

- ・ムービーを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- ・湿気の多い場所でムービーを使用しているとき
- ・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がムービーに直接当たるとき



つゆつきが発生すると

- ・液晶画面にが表示され、ムービーが停止します。カセットの出し入れもできません。
- ・通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はなどが表示されないことがあります。が出る前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
- ・つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。



つゆつき後再び使い始めるときは

- ・電源を切って1時間以上待ちます。その後、電源を入れて数分待ち、が消えてからご使用ください。が消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

つゆつきのトラブルを防ぐには

- ・寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ムービーとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
- ・例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋等に空気といっしょにムービーを入れ、しばらくその状態で部屋になじませてからご使用ください。



サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスは買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載の買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	所在地	都府県名	拠点名	TEL	所在地
北海道				東京			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005 札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29	【出張修理専門】のご相談窓口			
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032 苫小牧市畑町2-7-11	都議サ-ビスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012 旭川市神居二条3-2-15	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037 北見市山下町4-7-19	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036 釧路市若竹町6-13	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806 帯広市東六条南12-11	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806 函館市美原3-16-25	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6	
				八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
東北				【業務用機器専門】のご相談窓口			
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844 青森市桂木4-6-17	東京業務機器センター (03)3874-5231 110-0003 東京都台東区根岸5-4-3			
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804 八戸市青葉2-21-2	【出張修理専門】のご相談窓口			
弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084 弘前市高田1-13-1	都議サ-ビスセンター (03)5803-2888 113-0033 東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F				
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835 盛岡市津志田12地割字新田裡94番地1	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815 水沢市天文台通り3-12	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
秋田	秋田S.C.	(0188)24-3189	010-0953 秋田市山王中園町4-1	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874 大館市美園町5-6	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
横手	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064 横手市赤坂字大道向3-6	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011 仙台市若林六丁六の目西町7-13	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
宮城	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853 石巻市門脇字四番谷地8-18	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	山形S.C.	(0236)42-0279	990-2412 山形市松山3-12-18	東京業務機器センター (03)3874-5231 110-0003 東京都台東区根岸5-4-3			
山形	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842 酒田市亀ヶ崎6-6-1	【出張修理専門】のご相談窓口			
	郡山S.C.	(0249)52-6331	963-0205 郡山市堤3-1				
福島	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034 いわき市平上荒川字桜町19-4	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022 会津若松市滝沢町1-5	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	福島S.S.	(0245)53-9437	960-0103 福島市内内字南原26-1	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
関信越				【出張修理専門】のご相談窓口			
新潟	新潟S.C.	(025)241-0527	950-0084 新潟市明石1-2-19				
	佐渡S.S.	(0259)57-3127	952-1314 佐渡郡佐和田町河原田本町93	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
長野	長岡S.S.	(0258)24-1462	940-0012 長岡市下条2-1366-1	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	上越S.S.	(0255)44-9987	942-0081 上越市五箇1-1-1	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
長野	松本S.C.	(0263)25-9353	390-0837 松本市鎌田2-3-50	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	長野S.S.	(026)221-9946	380-0913 長野市川倉新田962-1	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
群馬	上田S.S.	(0268)23-3589	386-0005 上田市吉里79-1	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	前橋S.C.	(027)255-5920	371-0854 前橋市大渡町1-19-1	【業務用機器専門】のご相談窓口			
栃木	宇都宮S.C.	(028)635-2656	320-0864 宇都宮市住吉町17-9	東京業務機器センター (03)3874-5231 110-0003 東京都台東区根岸5-4-3			
茨城				【出張修理専門】のご相談窓口			
茨城	龍崎サ-ビスセンター	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F				
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
山梨	水戸S.C.	(029)246-1560	310-0836 水戸市元宮田町1077	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0051 土浦市真鍋6-1-25	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	甲府S.S.	(0552)37-3136	400-0864 甲府市湯田2-11-5	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
千葉				【出張修理専門】のご相談窓口			
千葉	龍崎サ-ビスセンター	(03)5803-2888	113-0033 東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F				
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
千葉	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001 千葉市美浜区幸町2-1-1	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	木更津S.C.	(0438)36-4855	292-0802 木更津市奥舟5-4-9	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
千葉	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863 柏市豊四季512-10-67	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001 浦安市当代島2-13-27	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
愛知				【出張修理専門】のご相談窓口			
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041 西春日井郡西春日町九之坪鴨田121-1				
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133 岡崎市井ノ口字河原西31	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
岐阜	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853 豊橋市佐藤5-19-1	本郷S.S.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367 岐阜市宇佐南3-1-28	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076 四日市市堀木2-15-2	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	津S.S.	(0592)29-7780	514-0815 津市大字藤方485-18	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
富山	富山S.C.	(0764)25-2397	930-0083 富山市総曲輪4-3-5	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	石川S.C.	(0762)31-5242	920-0867 石川市長土塚2-1-127	【業務用機器専門】のご相談窓口			
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843 福井市西開港3-211	東京業務機器センター (03)3874-5231 110-0003 東京都台東区根岸5-4-3			

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1297

都府県名	拠点名	TEL	☎	所在地
近 畿				
【サービス関連全て】のご相談窓口				
滋 賀	滋 賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
【出張修理専門】のご相談窓口				
京 都	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
南 部	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
都 府	都 都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京 都	【サービス関連全て】のご相談窓口			
北 部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
【出張修理専門】のご相談窓口				
奈 良	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				
	奈 良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
【出張修理専門】のご相談窓口				
大 阪	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				
	大 阪南S.C.	(06)768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 務 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市古島梅町3丁目21-2 伊吹ハイツ
【業務用機器専門】のご相談窓口				
	業 務 機 器 C	(06)304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
【サービス関連全て】のご相談窓口				
和 歌 山	和 歌 山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田 辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
【出張修理専門】のご相談窓口				
兵 庫	大 阪S.C.	(06)304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
東 部	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神 戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明 石S.S.	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
【サービス関連全て】のご相談窓口				
兵 庫	姫 路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
西 部				

都府県名	拠点名	TEL	☎	所在地
中 国				
岡 山	岡 山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西吉松西町8-23
廣 島	廣 島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福 山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
	呉 S.S.	(0823)74-9364	737-0112	呉市広古新開2-17-32-102
山 口	山 口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳 山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下 関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四 国				
香 川	高 松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳 島	徳 島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高 知	高 知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-1-143
愛 媛	松 山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九 州・沖 縄				
福 岡	福 岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久 留 米S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北 九 州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
	筑 豊S.S.	(0948)29-1146	820-0068	飯塚市片島2-22-27
佐 賀	佐 賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長 崎	長 崎S.C.	(0958)62-5522	852-0011	長崎市城山町9-13
	佐 世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大 分	大 分S.S.	(0975)43-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊 本	熊 本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町1218-1
	宮 崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延 岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿 児 島	鹿 児 島S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖 縄	沖 縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県豊湾市真志喜1-13-16
山 陰				
島 根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市西川津町1484-3
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥 取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市富安2-45

海外でのビデオムービーの修理ご相談窓口

北米・ハワイ

カナダ JVC CANADA INC.

・ト ロ ン ト (416-293-1311)
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA

・ア ト ラ ン タ (770-339-2522)
1500 Lakes Parkway Lawrenceville, GA 30243-5857
・サンフランシスコ (415-871-2666)
890 Dubuque Avenue, S. San Francisco, CA 94080-1804

・シ カ ゴ (630-851-7855)
705 Enterprise Street Aurora, IL 60504-8149

・ニュージャージー (973-808-9279)
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105

・ヒューストン (713-935-9331)

10700 Hammerly, Suite 110, Houston, TX 77043

・ボ ス ト ン

(508-881-5923)
230 Elliot Street, Ashland, MA 01721-2377

・ホ ノ ル ル

(808-833-5828)
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

・マ イ ア ミ

(954-472-1960)
8192 State Road 84, Davie FL 33324

・ロサンゼルス

(714-229-8011)
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024

・ハリウッド

(818-659-5262)
8764 Beverly Boulevard West Hollywood, CA 90048

(注)・ヨーロッパその他の地域ではテレビジョン方式の違い等の問題がありますので、おでの前の下に下記お客様ご相談センターにご相談ください。
・海外では日本の保証書は適用されませんので、修理は全て有料となります。

ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7	ビクター本郷ビル
	(06)765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16	大阪ビクタービル



こころのかよう
サービス

主な仕様

一般仕様

項目	仕様
電源	DC 6.3 V (ACアダプター使用時) DC 7.2 V (バッテリー使用時)
消費電力	約6 W (ファインダー使用時) 約7 W (液晶画面使用時)
規格	DV方式 (SD仕様)
信号方式	NTSC日米標準信号
使用カセット	Mini DV カセット
録画時間	SPモード : 60分、LPモード90分 (M-DV60ME使用時)
早送り・巻戻し時間	約3分 (M-DV60ME使用時)
撮像素子	1/4型CCD固体撮像素子 46万画素 (撮像エリア約29万画素)
ズーム倍率	光学10倍、総ズーム倍率100倍 (デジタルズーム使用時)
レンズ	F1.8、f=3.6 ~ 36 mm フィルター径 (ネジピッチ0.5 mm) : 27 mm : 25.5 mm (レンズフードを外した状態)
液晶画面	2.5型、18万画素、ポリシリコンTFT LCDパネル
ファインダー	0.55型、11.3万画素、LCDパネル
最低照度	12ルクス、6ルクス (シャッター速度1/30秒時)
内蔵マイク	コンデンサータイプ/ステレオ
許容動作温度	0 ~ 40
許容相対湿度	35 ~ 80 %
許容保存温度	-20 ~ 50
外形寸法	幅 約47 × 高さ 約135 × 奥行き 約81 mm (液晶画面、ファインダー収納時)
質量	本体質量 約440 g 撮影時質量 約530 g (バッテリーBN-V607、カセットM-DV30ME等含む)

オーディオ仕様

項目	仕様
サンプリング周波数	48 kHz/32 kHz、44.1 kHz (再生のみ)
チャンネル数	2チャンネル (48 kHz)
	4チャンネル (32 kHz)
量子化ビット数	16 bit直線 (48 kHz)
	12 bit非直線 (32 kHz)
スピーカー	モノラルタイプ

端子部仕様

項目	仕様
マイク入力端子	3.5 mmミニプラグ ステレオ (0.30 mVrms)
ヘッドホン端子 / AV出力端子	3.5 mmミニプラグ 映像 : アナログ出力 (1 Vp-p, 75 Ω) 音声 : ステレオ / アナログ出力 (300 mVrms, 1 k Ω)
DV出力/入力端子	4ピン IEEE1394準拠 デジタル出力/入力
マルチ端子	26ピン

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

保証書(別途添付しています)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からの受取っていただき内容をよくお読みした後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオムービーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合(持込修理)

104～106ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオムービー
型名	GR-DVY
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	() -

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店に修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

長年ご使用のムービーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

再生しても映像や音が出ない。
異常な臭いや音がある。
水や異物が入った。
その他の異常や故障がある。



ご使用中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

用語解説

わからない言葉があったときは

用語	解説
アイリス	人間の目と同じ働きをします。人間の目は光が強いところでは瞳が縮み、光がたくさん入らないようにします。逆に暗いところでは瞳が広がり、光をたくさん入れるようにします。 アイリスはそれらの機能をムービーで電氣的に行うものです。
色温度	被写体を照らす光には、赤っぽい色や青っぽい光など、さまざまな質があります。この光の色合いを示す基準を色温度と言います。
ACアダプター	バッテリーを充電するとき 사용합니다。また、直接ムービーに接続して電気を供給することもできます。
オートフォーカス	初めてムービーを使う人が苦手とするピント合わせを自動で行います。
オンスクリーン	液晶画面のメッセージ表示などを、ムービーなどに接続したテレビに映すことができます。
カメラリハーサル	テープを入れずに電源ダイヤルを A 、 M などになると、ムービーで撮っている映像を液晶画面やファインダーで見ることができます（カメラリハーサル状態）。この状態でムービーをテレビなどに接続すれば、映像をムービー以外の外部映像機器で見ることができます。
録画一時停止	撮影を一時的に停止している状態を指します。スタート/ストップボタンを押せば撮影がスタートします。
白バランス	照明がロウソクの時と蛍光灯の時では人間の目で見て同じ色でもムービーで撮ると違った色になります。白バランスはそれを自然な色合いに調節する機能です。
つゆつき	温度変化などにより、ムービー内部に水滴が付着する状態を指します。つゆつきが生じると、液晶画面に  が表示され、ムービーは停止します。
デジタルズーム	レンズの性能で拡大した映像（10倍まで）を、デジタル処理でさらに拡大する機能です。40倍、または100倍ズームが可能です。
手ぶれ補正	ムービーを手で持って撮影するときに生じる比較的小さな揺れを自動的に補正する機能です。
フェーダー （フェード）	映像の場面切替に使われるテクニックの1つです。映画やテレビの映像で、映像が徐々に薄れて消えていくことをフェードアウト、徐々に浮かび上がってくることをフェードインと呼びます。
NTSC	テレビの方式の1つで、日本、アメリカ、カナダ、メキシコ、台湾などがこの方式を採用しています（  103 ページ）。このほかにPAL（ヨーロッパなど）SECAM（フランス）の方式があります。
ワイブ	映像の場面切替に使われるテクニックの1つで、映像が拭き取られるように消えていくことをワイブアウト、映像が拭き取られるようにして次の場面があらわれることをワイブインと言います。

索引

あ

アイコン	58、64
明るさ固定表示/補正/調節	28、52、53
アクセサリキット	96
アニメ	86
色のバランス調節	54
映画効果	65
演出効果	75
液晶画面	28
演出効果表示	64
オートフォーカス	51
オーバーラップ	59、61
オンスクリーン設定	90
音声1、2	69
音声モード表示	86
音量スイッチ/音量調節	25、43

か

カメラリハーサル	35
感度アップ	92
記念写真撮影	40
グリップベルト	20
高感度	65
コントロールジョグダイヤル	25

さ

再生音声切り替え/再生画面の移動	68、74
再生ボタン/ズーム	42、45、74
再生モード	30
撮影時間	33
撮影中の画面/表示	28、29
撮影中ランプ/撮影モード	32、92
三脚取り付けネジ穴	26
シーン撮影	37、86
システム設定	88
自動編集	78
シャッタースピード/メニュー	64、67
充電時間/ランプ	18

白バランス	54
シンクロ補正	84
ズーム撮影	36
スタート/ストップボタン	25
ステレオマイク	24、79
ストロボ	65
スピーカー音量表示	30
静止画再生	43
接写	36
セピア	65
セルフタイマー撮影	38
選択ダイヤル	50

た

対面撮影	35
タイムコード表示	30、72
ダビング	76
タリールンプ	24
つゆつき	31、111
テープ残量表示/テープ動作表示	29、30
デジタルダビング	77
デジタルビデオヘッドクリーナー	104
デジタルプリンター	49
手ぶれ補正表示	92
デモモード	86
テレビに接続	44
電源ダイヤル	25
ドアロックスイッチ	25
時計設定	90、91

な

日時表示/設定	70、90
---------	-------

は	
パソコンに接続	48
バッテリー	18、110
バッテリー残量表示	31
場面切替	58、62
早送り再生	43
ビデオに接続	46
ピント表示	28、50
ファインダー表示	28、32
フェーダー効果/フェードイン/アウト	60
ブザー/タリー設定	86
付属品	16
ブルーバック	43
フルオートモード	32
フル音声	69
編集端子	80
ボイスポジション	86

ま	
巻戻し再生/巻戻しボタン	43、42
マクロ撮影	36
マニュアルフォーカスモード	25、33、50
無記録部分	73
メニューボタン	68、92、106
モザイクノイズ	104

や	
夜景	64

ら	
ランダム	59、61
リセットボタン	25
リモコン電池の入れ方/設定/受光部	98、78、24
レンズシャッター	24
録画モード表示	92

わ	
ワイド効果表示	92
ワイド/シネマ表示	29
ワイプ	59
ワンタッチで色のバランス調節	56

アルファベット	
15秒セルフタイマーモード	38、25
32kHz/48kHz音声切替	68
5秒撮り/モード	37、25
ACアダプター	17
AV出力端子	24
B/Wブラック/ホワイト	65
DCコード	17
DV出力/入力端子/ケーブル	24、49
IDナンバー	86
JLIP端子	48
S1端子	93
S2映像出力端子	27
S2端子	93



省エネで
守る環境
豊かな暮らし

故障かな?と思ったら
修理に出す前に100～102ページをご確認ください。

修理相談

「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼
になれない場合は、116ページの「保証とアフターサービス」
をお読みの上、112～113ページの「ビクターサービス窓口」
にご相談ください。

お買物相談

お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様
ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東 京

 (03)5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

 (06)765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ

インターネット上にビクターのホームページを設けました。

ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550